取扱説明書

ビクター地上・BS・110度CSデジタル液晶テレビ

LT-26L1-B
LT-26L1-W
LT-20L1-B
LT-20L1-W
LT-20L1-P
LT-20L1-G

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に「安全上のご注意」（4～10ページ）は、必ずお読みいただき、安全にお使いください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。
ご登録いただきますと製品のサポート情報、ビクターの製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。
また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。
●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.victor.co.jp/reg/

LCT2396-001B

特長

- ✔ いつでも現在時刻が確認できる ➼14ページ
- ✔ USB端子で写真、音楽、エブリオを楽しむ ➼28ページ
- ✔ 番組表で番組探し ➼20ページ
- ✔ パソコンにつないでモニターとして使う ➼48ページ

もくじ

安全上のご注意

ご使用になる方や他の人々への危害や損害を防ぐために、必ず守っていただきたいことを説明しています。

「人が死亡、または重傷を負うことが想定される」内容

「人が傷害を負ったり、物的損害が想定される」内容

■ 絵表示の説明

注意、警告が必要なこと

一般的注意

感電注意

ケガに注意

手を挟まれないように注意

禁止されていること

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

水場での使用禁止

実行して欲しいこと

プラグをコンセントから抜く

万一異常が発生したときは

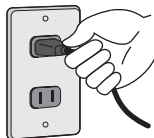
- ●煙が出ている、異臭がする。
- ●画面が映らない、音が出ない。
- ●内部に水や物が入ったとき。
- ●落下などにより破損したとき。
- ●電源コードが傷んだとき。

▶

電源スイッチを切る。
電源プラグをコンセントから抜く。

そのまま使用すると、火災や感電の原因となります。販売店に修理を依頼してください。

警告 設置・使用

電源プラグはコンセントの根元まで確実に差し込む

電源プラグは、根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントには接続しない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

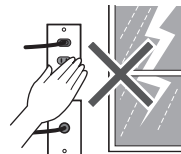
電源プラグやコンセントに、ほこりや金属が付着したまま使用しない

電源プラグはコードの部分を持って抜かない

表示された電源電圧（交流100V）以外で使用しない

電源コードを傷つけない

- 電源コードを加工しない
- 無理に曲げたり、ねじったり、ひっぱったりしない
- 電源コードの上に機器本体や重い物をのせない
- 電源コードを熱器具に近づけない

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない

警告 設置・使用

この機器の裏ぶた、カバー、キャビネットは外したり改造しない

分解禁止

この機器の上に水の入ったものを置かない
この機器の上に火のついたろうそくのような裸火を置かない

禁止

内部に物を入れない
感電を起こすことがあります。特にお子様には十分注意してください。

禁止

風呂場などの水のある場所で使わない

水場での使用禁止

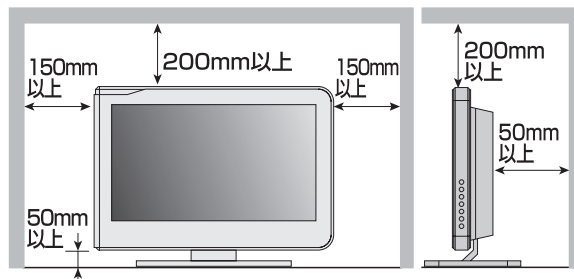
通風孔をふさがない
- 押し入れ、本箱などの上に置かない
- じゅうたんや布団などの上に置かない
- テーブルクロスなどを掛けない
- 横倒し、逆さまにしない

禁止

不安定な場所に置かない

禁止

壁や他の機器と間隔をあけて設置する
放熱をよくするため、周囲との間に下図の空間距離を保つようにしてください。
本機は若干熱を帯びる構造になっています。
過熱防止のため下図の空間距離を保つとともに、取り扱いには十分気をつけてください。

一般的注意

電源プラグが容易に抜き差しできる空間を設ける
本機は、電源プラグの抜き差しで、主電源が入り/切りします。本機を設置するときは、できるだけコンセントの近くに設置してください。

一般的注意

⚠注意 設置・使用

長時間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

お手入れをするときは電源プラグを抜く

プラグをコンセントから抜く

移動するときは電源プラグや接続コード類を外す

プラグをコンセントから抜く

すべてのランプが消えていても、電源プラグがコンセントに差し込まれていると、本機には電力が供給されています。完全に電源を切るには、電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コード、接続ケーブルは引っかからないように本体後面で束ね、壁、床などのすみに配置する

一般的注意

この機器の上に乗らない、ぶら下がらない

禁止

この機器の上に重い物を置かない

禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

禁止

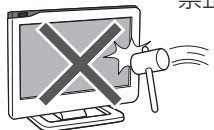
ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

一般的注意

液晶画面に衝撃を与えない

（物を当てたり、先の尖ったもので突いたりしない）

液晶画面のパネルが割れて、けがの原因となることがあります。

禁止

本体パネルの下部を持って前後に傾けない

本体パネル部分の下側中央部を持たないでください。指が挟まれて、けがの原因となることがあります。

また、無理に傾けると転倒して落下やけがの原因となることがあります。

ケガに注意

手を挟まれないように注意

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で15分以上洗浄してください。その後、医師に相談してください

一般的注意

次のような場所に置かない

- 湿気やほこりの多いところ
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたるところ
- 熱器具の近くなど
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ

禁止

キャスター付きテレビ台に乗せるときは、キャスターを固定する

キャスターにストッパー機能があるときは、必ずストッパーをロックしてください。

一般的注意

この機器の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない

禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様の手の届くところに置かない
万一飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。

禁止

健康のため、1時間ごとに10分～15分の休憩をとり、目を休めてください

一般的注意

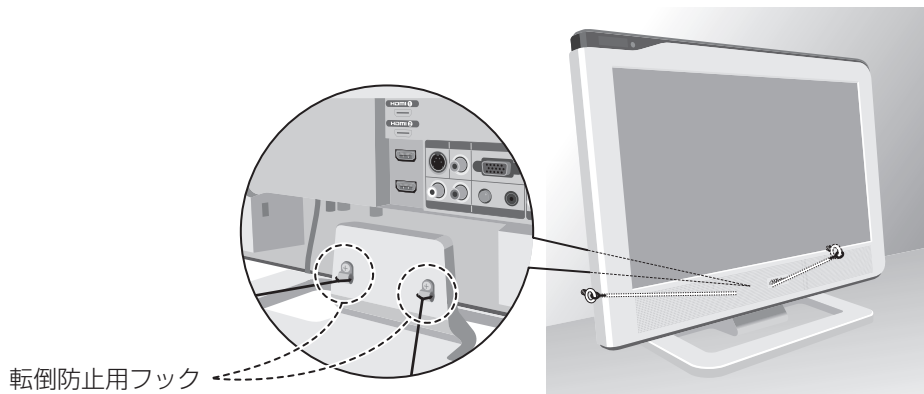
1年に1度は内部の点検を販売店にご相談ください

一般的注意

地震等での製品の転倒、落下によるけがなどの危害を軽減するために、転倒・落下防止の処置をしてください。

本機を壁に固定するときは、必ず本体後面の転倒防止用フックを使って固定してください。

1 転倒防止用フックに市販の丈夫なひもなどを通して結びます。

2 ひもを壁面や柱など堅牢部に固定します。

お手入れのしかた

画面のよごれは

画面には反射防止のための表面コーティングなど、特殊な薄膜層が形成されています。この薄膜層がダメージを受けると「ムラ」「変色」「キズ」「欠陥」など、修理不可能な外観変化が生じる恐れがありますので次のことに注意してください。

- 画面にのりやテープなどを張らない
- 画面にペンなどで書き込みをしない
- 画面を硬いものにぶつけない
- 画面を結露させない
- 画面をアルコールなどの溶剤などでふかない
- 画面を強くこすらない

画面のよごれを取り除く場合には、柔らかい布またはクリーニングクロスを使ってからぶき･かたく絞った水ぶき･薄めた中性洗剤でかたく絞った水ぶきを行なってください。

キャビネットのよごれは

柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、次のことに注意してください。

- シンナーやベンジンでふかない
- 殺虫剤など揮発性のものをかけない
- ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしない

スタンド・フレームのよごれは

光沢仕上げ面が汚れたときは、ほこりを払ってから光沢面を柔らかい布（綿・ネルなど）で拭いてください。

- 光沢面に指の跡などがついた場合も、この方法できれいにすることができます。
- 最初に光沢面のほこりを払ってください。ほこりが残っている状態で布拭きすると、光沢面が傷つくことがあります。

通気孔に付着したほこりは

本体後面に付着したほこりは、掃除機を使って吸い取ってください。掃除機が使えないときには、布で拭き取ってください。通気孔にほこりが付着したまま放置すると、内部の温度が調節できなくなり、故障の原因となることがあります。

本体とかんたんリモコン

■ テレビ本体

緑色で点灯：電源が入っています。
赤色で点灯：待機中（オフ）です。
緑色で点滅：通信中です。

本体の傾きを調節する

スタンドをしっかりと押さえながら、本体パネル部分の上部中央を持ってゆっくりと傾けてください。
上向きに10度、下向きに5度の範囲で調節できます。

本体とかんたんリモコン

・**電源ボタン**を押すと、「しばらくお待ちください」というメッセージが表示されます。メッセージが消えてから映像が表示されるまでしばらくかかりますが、故障ではありません。

■ 本体のボタン

テレビの放送やつないだ機器の映像を切り換えます。

画面サイズを切り換えます。 ➜23 ページ

チャンネルを切り換えます。

音量を調節します。

電源を入り／切りします。

■かんたんリモコン

送信部

時間設定メニューを開きます。
➳14ページ

電源を入り／切りします。

テレビの放送を切り換えます。

地上アナログ
▼
地上デジタル
▼
BSデジタル
▼
CSデジタル

つないだ機器の映像を切り換えます。

（テレビ放送）
▼
ビデオ1
▼
ビデオ2
▼
HDMI1
▼
PC
▼
HDMI2

メニューを開きます。
➳32ページ

メニューや番組表で項目を選びます。

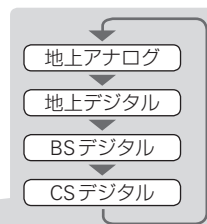
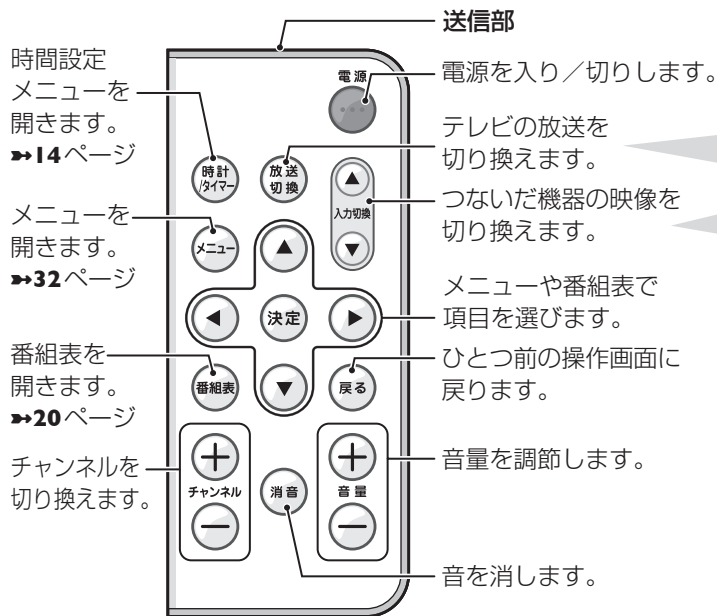
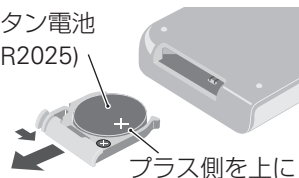
番組表を開きます。
➳20ページ

ひとつ前の操作画面に戻ります。

チャンネルを切り換えます。

音量を調節します。

音を消します。

電源　源　時計/タイマー　放送切換　入力切換　メニュー　決定　番組表　戻る　チャンネル　消音　音量

電池を交換するときは

- 電池は普通の使いかたで、約6か月から1年使えます。
付属の電池は動作確認用です。
- 使用済みの電池は、テープなどを張って絶縁し、「所在自治体の指示」に従って廃棄してください。

リモコンを使うときは

- リモコン受光部やリモコンの送信部に明るい光があたっていたり、途中に障害物があると動作しません。
- ゆっくりと確実に操作してください。

時計を使う

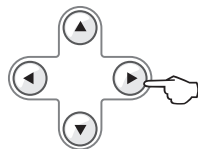
本体左上の時計に現在時刻を表示させることができます。

■ 時計を合わせる

1. 時間設定メニューを開きます。

時間設定	
オフタイマー	
おはようタイマー	切り
おやすみタイマー	切り
テレビ消し忘れ防止設定	切り
時計表示	明るい
現在時刻	
カレンダー	

2. 【現在時刻】を選びます。

3. 日付と現在時刻を設定します。

左右ボタンで設定したい項目を選び、上下ボタンで設定してください。

- デジタル放送を受信しているときは現在時刻を手動で修正することはできません。

4. 設定を終了します。

時計/タイマー

地上デジタル放送または衛星デジタル放送を受信している場合は、現在時刻を設定する必要はありません。

時刻情報はデジタル放送の信号と同時に配信されています。

■ 時計表示の設定

時計表示の明るさを調節できます。

1. 時間設定メニューを開きます。

2. 【時計表示】を選びます。

3. 表示を設定します。

【切り】、【暗い】、【明るい】から選んでください。

■ カレンダーを見る

画面上でカレンダーを見ることができます。

1. 時間設定メニューを開きます。

2. 【カレンダー】を選びます。

カレンダーが表示されます。

2008/4

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

・カレンダーを消すには**戻るボタン**を押してください。

タイマーを使う

目覚まし代わりにテレビを使ったり、自動でテレビの電源が切れるように設定したりできます。

■決めた時刻にテレビをつける ー おはようタイマー

1. 時間設定メニューを開きます。

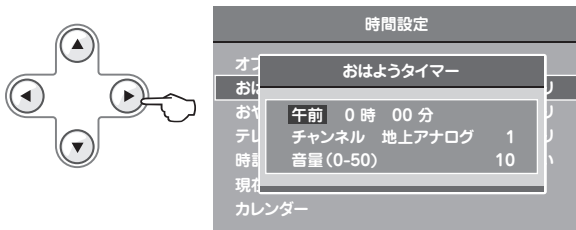
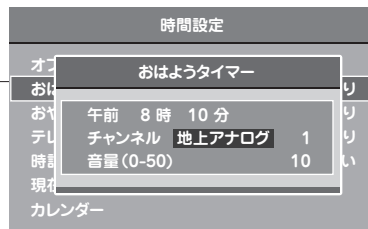
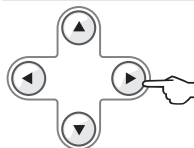
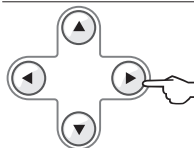
2.【おはようタイマー】で【入り】を選びます。

3. テレビの電源を入れたい時刻を設定します。

左右ボタンで設定したい項目を選び、上下ボタンで設定してください。

・ フルリモコンの数字ボタンでも設定できます。

4. 放送とチャンネルを設定します。

時間設定
おはようタイマー
午前 8 時 10 分
チャンネル 地上アナログ 1
音量(0-50) 10
カレンダー

5. 音量を設定します。

6. 設定を終了します。

おはようタイマーが設定されているときは、タイマーランプが点灯します。

・ 設定した時刻に電源が「入」になっていると、おはようタイマーは動作しません。

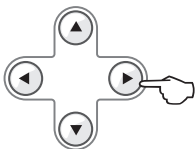
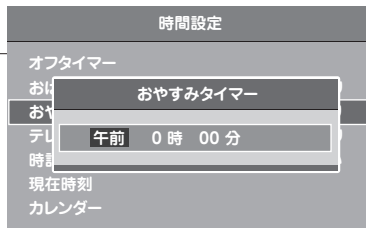
おはようタイマーをキャンセルするには

【時間設定】➔【おはようタイマー】で【切り】を選んでください。

■決めた時刻にテレビを消す ー おやすみタイマー

1. 時間設定メニューを開きます。

2.【おやすみタイマー】で【入り】を選びます。

3. テレビの電源を切る時刻を設定します。

・フルリモコンの数字ボタンでも設定できます。

4. 設定を終了します。

おやすみタイマーが働いているときはタイマーランプが点灯します。

おやすみタイマーをキャンセルするには

【時間設定】➔【おやすみタイマー】で【切り】を選んでください。

しばらくしたら電源を切る — オフタイマー

おやすみタイマー、オフタイマー、テレビ消し忘れ防止設定のうち２つ以上を設定していると、一番早い設定時刻に合わせてテレビの電源が切れます。

1. 時間設定メニューを開きます。

2. 【オフタイマー】を選びます。

3. 何分後にテレビの電源を切るか設定します。

時間設定

オフタイマー	切り（解除）
おはようタイマー	30分
おやすみタイマー	60分
テレビ消し忘れ防止設定	90分
時計表示	120分
現在時刻	
カレンダー	

オフタイマーがはたらいているときはタイマーランプが点灯します。

オフタイマーを取り消すには

【時間設定】➔【オフタイマー】で【切り（解除）】を選んでください。

■テレビの消し忘れを防止する

1. 時間設定メニューを開きます。

2.【テレビ消し忘れ防止設定】を選びます。

3. 電源を切る条件を選びます。

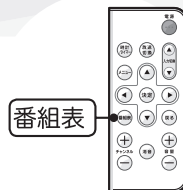
【切り】：消し忘れ防止機能は働きません。

【無信号無操作時】:無信号または無操作のときに、テレビの電源が自動的に切れます。

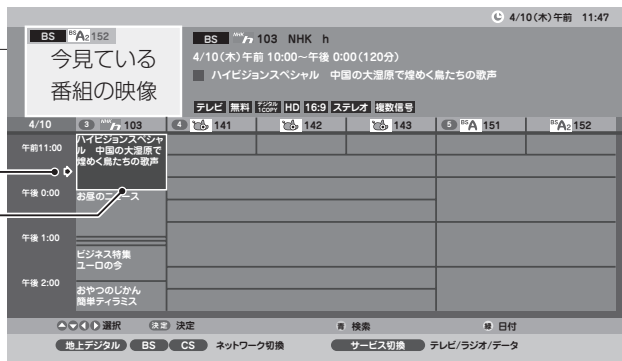
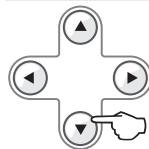
【無信号時】：つないだ機器で再生が終了したなど、入力信号のない状態が約４分間続くと、テレビの電源が自動的に切れます。

【無操作時】：約３時間何も操作しないでいると、テレビの電源が自動的に切れます。

番組表で番組を探す

今日から８日先までの番組表を、テレビ画面で見ることができます。

■ 番組表で番組を選ぶ

1. 番組表を開きます。

番組表

2. 番組を探します。

選んでいる番組の情報が画面上部に表示されます。

- **放送切換ボタン**を押すと、表示される放送が切り換わります。

3. 番組を見ます。

現在放送中の番組を選ぶと、その番組に切り換わります。

- 放送予定の番組を選んだときは、その番組の詳細情報が表示されます。

番組表のデータ受信について

- 受信にはBS・110度CSデジタルアンテナ、地上デジタルアンテナの接続と設定が必要です。
- 地上アナログ放送の番組表はご覧いただけません。

番組表から視聴予約や録画予約をすることはできません。

表示される日付を変える

：フルリモコンでのみ可能な操作です。

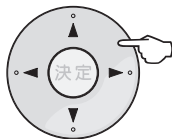
■ジャンルで番組を検索する

当日放送予定の番組の中から、ジャンルを指定して番組を検索することができます。

1. 番組表を開きます。

2. 検索画面を開きます。

3. 見たい番組のジャンルを選びます。

メインジャンルとサブジャンルを選びます。

4. 検索結果を見ます。

・**地上デジタルボタン**、**BSボタン**、**CSボタン**を押すと、各放送の該当番組一覧に切り換わります。

5. 番組を選びます。

現在放送中の番組を選ぶと、その番組に切り換わります。

・番組を選んで**決定ボタン**を押すと、その番組の詳細情報が表示されます。

■ 字幕を表示させる

デジタル放送に字幕情報が含まれる場合、字幕を表示させることができます。

▶メニューから

【ユーザ設定】➔【字幕の設定】➔【字幕】で【入り】を選びます。

▶フルリモコンから

字幕の言語を選ぶ

【ユーザ設定】➔【字幕の設定】➔【字幕言語】
【日本語】、【英語】から選んでください。

文字スーパーを設定する

ニュース速報などの表示を設定できます。

【ユーザ設定】➔【字幕の設定】➔【文字スーパー】
【入り】、【切り】から選んでください。

【ユーザ設定】➔【字幕の設定】➔【文字スーパー言語】
【日本語】、【英語】から選んでください。

■ 映像モードを切り換える

ご覧になる映像に合わせて、映像モードを4種類の設定から選ぶことができます。

▶メニューから

【映像 / 音声】➔【映像】➔【映像モード】で設定します。

- 【スタンダード】：くっきりとした映像に
- 【ダイナミック】：明暗のメリハリがきいた映像に
- 【シアター】：映画番組や映画ソフト向きの映像に
- 【ゲーム】：テレビゲームを楽しむときに

▶フルリモコンから

・入力切換で「PC」を選んでいるときは、映像モードを切り換えることはできません。

■画面サイズを変える

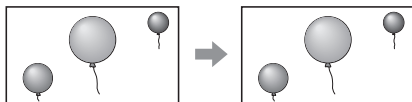
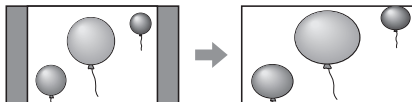
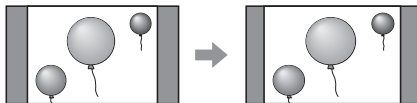
▶メニューから

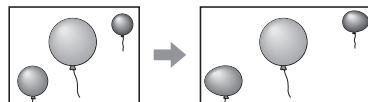
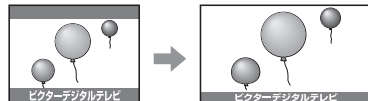
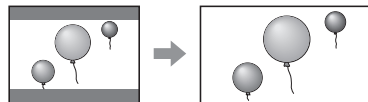
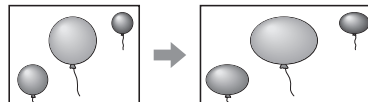
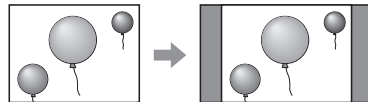
【映像 / 音声】➔【セットアップ】➔【画面サイズ】で設定します。

▶フルリモコンから

画面サイズ

HD放送のとき

【フル】：拡大や変形をしません。

【ズーム 1】：縦横に拡大します。

【ズーム 2】：横に拡大します。

SD放送のとき

【パノラマ】：横に自然に引き延ばします。

【字幕パノラマ】:字幕を残して拡大します。

【シネマ】：上下をカットします。

【フル】：横に引き延ばして表示します。

【ノーマル】：拡大や変形をしません。

画面サイズが自動で切り換わるようにする

【メニュー】➔【映像 / 音声】➔【セットアップ】➔【画面サイズ自動検出】で【入り】を選んでください。

字幕がはみ出すときは

【シネマ】または【字幕パノラマ】にしているとき、画面の上下位置を微調整することができます。
【メニュー】➔【映像 / 音声】➔【セットアップ】➔【画面スクロール】

ご注意

テレビを営利目的、または公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等において画面サイズ選択機能（パノラマ）等を利用して、画面の圧縮や引き伸ばし等を行ないますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

フルリモコンを使う

送信部
電源
電源を入り／切りします。
外部入力を切り換えます。
ビデオ1
ビデオ2
HDMI1/PC
HDMI2
地上
衛星
アナログ
デジタル
BS
CS
放送を切り換えます。
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10/0
11/*
12/#
»26ページ
»22ページ
映像選択
番号入力
画面サイズ
»23ページ
»27ページ
»22ページ
画面表示
字幕
時計/タイマー
チャンネル情報を表示します。
»14ページ
青
赤
緑
黄
画面によっていろいろな働きをします。
画面の案内に従って操作してください。
メニュー
消音
音を消します。
番組表
»32ページ
»20ページ
番組説明
d連動データ
決定
»25ページ
見ている番組の詳細内容を表示させます。
ひとつ前の画面に戻ります。
マルチメディア
戻る
»28ページ
チャンネル
音量
»27ページ
音量を調節します。
音声切換
サービス切換
信号切換
主音声／副音声を切り換えます。
マルチビューなど複数の映像を放送
している番組で、映像を切り換えます。
»25ページ

■ データ放送、ラジオ放送を楽しむ

デジタル放送では、テレビ放送以外に、データ放送とラジオ放送が楽しめます。

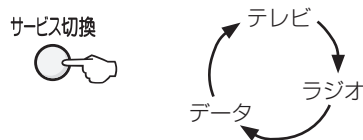
データ放送

データ放送では、ニュースやさまざまな情報を見たり、クイズやゲームなどの双方向サービスが楽しめます。データ放送には、独立データ放送と連動データ放送があります。

- 独立データ放送（おもに衛星デジタル放送）
  データだけの放送です。テレビ放送と同様に、チャンネルを選んで見ることができます。
- 連動データ放送
  デジタル放送の番組に連動して、番組に関する情報などを見ることができます。

ラジオ放送（衛星デジタル放送のみ）

音声のみのラジオ放送と、映像や連動データ放送を楽しめるラジオ放送があります。番組によっては、CD 並の高音質で放送されます。

データ放送、ラジオ放送を楽しむ

連動データ放送を見る

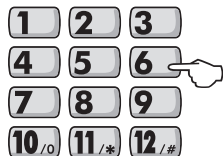
データ放送を操作する

画面の表示に従って、リモコンボタンで操作します。

データ放送を操作するときは

- 画面を見ながらゆっくりと操作してください。
- データ放送の表示には時間がかかります。
- 操作ボタンの表示は、放送局や番組によって異なります。
- 操作ガイドが表示されているときは、その指示に従って操作してください。
- 表示される操作ボタンと実際に操作するボタンが異なることがあります。

双方向サービスを受けるには、電話線の接続および通信の詳細設定が必要です。（➡50ページ）

■ 数字ボタンで選局する

CATVをご覧の場合

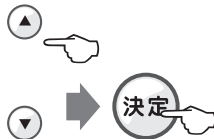
数字ボタンに全てのチャンネルを割り当てることはできません。割り当てていないチャンネルを選ぶには、**チャンネル＋/－ボタン**または**番号入力ボタン**をお使いください。（➺右ページ）

数字ボタンに割り当てるチャンネルを変更する

1. メニューを開きます。

地上アナログ放送の設定：【チャンネル設定】➔【地上アナログ】➔【チャンネル設定】
地上デジタル放送の設定：【チャンネル設定】➔【地上デジタル】➔【チャンネル設定】
BSデジタル放送の設定：【チャンネル設定】➔【BSデジタル】➔【チャンネル設定】
CS110度放送の設定：【チャンネル設定】➔【CSデジタル】➔【チャンネル設定】

2. 設定したい数字ボタンを選びます。

3. 選んだボタンに割り当てたいチャンネルを選びます。

■ チャンネル＋/－ボタンで選局する

不要なチャンネルを飛ばす

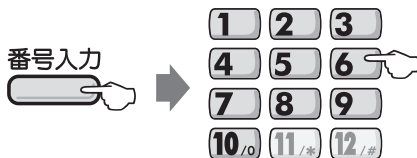
ふだん見ないチャンネルをスキップさせることで、見たいチャンネルを選びやすくします。

1. メニューの【スキップ設定】で視聴中の放送を選びます。

【チャンネル設定】➔【スキップ設定】
➔【CATV】／【地上デジタル】／【BSデジタル】／【CSデジタル】

2. スキップしたいチャンネルを選びます。

決定ボタンを押すたびに【スキップ】↔【受信】が切り換わります。

■ チャンネル番号を直接指定する

数字ボタンで3ケタのチャンネル番号を入力します。

USBメモリの写真を見る・音楽を聴く

USBメモリに入れた静止画像をテレビ画面で見たり、MP3ファイルを再生できます。

■ USBメモリを接続する

テレビ画面に【USB機器認識】と表示されます。

■ マルチメディアメニューを開く

USB機器のファイルはマルチメディアメニューから操作します。

・ テレビ画面に戻るには、**戻るボタン**を押してください。

接続できるUSBメモリについて

以下のUSBメモリで動作を確認しています。

- 株式会社バッファロー
  RUF2-M512-S、RUF-C1GS-BL/U2、RUF2-E
- 株式会社アイ・オー・データ機器
  TB-ST1G/B、TB-ST2G/B
- サンディスク株式会社
  SDCZ6-512、SDCZ6-1024-J65、SDCZ23-002G
- エレコム株式会社
  MF-AU201GBS、MF-NU202GBK

写真を見る

1. マルチメディアメニューで【写真】を選びます。

画像一覧が表示されます。

2. 見たい画像を選びます。

選んだ画像が大きく表示されます。

スライドショーをする

青

再生間隔を選択すると、スライドショーが始まります。

スライド間隔設定
1秒
3秒
5秒
7秒
10秒

表示可能な画像ファイル

データ形式：JPEG
対応画素数：

- マルチスキャン対応
  10 x 10 ～ 1600 x 1200
- マルチスキャン非対応
  10 x 10 ～ 16838 x 16383

音楽ファイル一覧画面へ移動する

➻30ページ

黄

ファイルの情報を見る

緑

画像一覧に戻るには

音楽を聴く

1. マルチメディアメニューで【ミュージック】を選びます。

音楽ファイルの一覧が表示されます。

2. 曲を選んで再生します。

一時停止する

全曲をくり返し再生する

青

ランダムに再生する

赤

再生可能な音楽ファイル

オーディオ形式：MP3

サンプリング周波数：16 kHz～48 kHz

ビットレート：16 kbps～320 kbps

- サンプリング周波数とビットレートの組み合わせによっては、正常に再生できない場合があります。

ファイルの情報を見る

緑

写真一覧画面へ移動する

黄

音楽を聴きながら写真を見ることができます。

エブリオをつないで写真を見る

ビクターのハードディスクムービー「エブリオ」をUSB端子に接続すると、ハードディスク内の写真を表示できます。

1. テレビとエブリオを接続します。

2. エブリオ側で「パソコンで見る」を選びます。

詳しくはエブリオの取扱説明書をご覧ください。

3. テレビのマルチメディアメニューで【写真】を選びます。

画像一覧が表示されます。

4. 見たい画像を選びます。

選んだ画像が大きく表示されます。

接続できるエブリオ

GZ-HD7, GZ-HD3, GZ-MG575, GZ-MG555, GZ-MG275, GZ-MG255, GZ-MG155, GZ-MG505, GZ-MG77, GZ-MG67, GZ-MG47, GZ-MG70, GZ-MG50, GZ-MG40

- エブリオのSDカード内に保存されている写真は表示できません。
- 動画は表示できません。

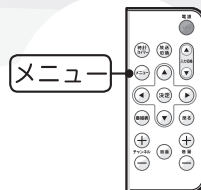
ファイルの情報を見る

緑

スライドショーをする

青

メニュー項目一覧

映像／音声	お知らせ	ユーザ設定	チャンネル設定	システム設定

映像や音声を調節します。
➸35ページ

放送局からのお知らせやテレビの情報を確認します。
➸39ページ

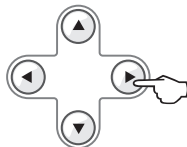
使いかたに応じた設定をします。➸22、40ページ

テレビ放送の受信に関する設定をします。➸26、37ページ

時計や接続機器に関する設定をします。

■ メニューの操作

メニューを開く／閉じる

項目を選ぶ

設定を保存する

ひとつ前の画面に戻る

・ 放送や接続機器に関する設定は、対応する放送／外部入力を選択しているときのみ設定できます。

■映像 / 音声

映像	映像モード	35
	ピクチャー	
	黒レベル	
	色あい	
	色の濃さ	
	シャープネス	
	色温度	
	映像設定を標準に戻す	
音声	バランス	36
	高音	
	低音	
	サラウンド	
	HDMI1 音声	43
	HDMI2 音声	
	音声設定を標準に戻す	36

セットアップ	画面サイズ	23
	画面スクロール	
	画面サイズ自動検出	
	ナチュラルシネマ	36
	E.E. センサー	
	バックライト調整	
PC設定	自動調整	49
	色温度	
	位相調整	
	周波数調整	
	水平位置調整	
	垂直位置調整	
	PC設定を標準に戻す	

■お知らせ

メール		39
CSボード	CS1	39
	CS2	
双方向通信一覧		39
カード情報		39

■ユーザ設定

視聴制限	視聴可能年齢	40
	暗証番号変更	
	暗証番号リセット	
字幕の設定	字幕	22
	字幕言語	
	文字スーパー	
	文字スーパー言語	
メニュー色設定		41

メニュー項目一覧

・放送や接続機器に関する設定は、対応する放送／外部入力を選択しているときのみ設定できます。

■チャンネル設定

項目	設定	ページ
はじめての設定	➸簡単スタートガイド	
地域設定	地域設定	37
	郵便番号	
地上アナログ	エリアコード	37
	チャンネルスキャン	
	チャンネル設定	26
地上デジタル	地上デジタルスキャン	38
	地上デジタル再スキャン	
	チャンネル設定	26
BSデジタル	衛星情報の設定	39
	チャンネル設定	26
CSデジタル	衛星情報の設定	39
	チャンネル設定	26
スキップ設定		27
アンテナ設定	地上デジタル設定	38
	衛星設定	

■システム設定

項目	設定	ページ
時間設定	オフタイマー	18
	おはようタイマー	16
	おやすみタイマー	17
	テレビ消し忘れ防止設定	19
	時計表示	15
	現在時刻	14
	カレンダー	15
電話設定	電話回線の種類	51
	トーン検出	
	内線設定	
	発信者番号通知	
	電話会社設定	
	マイラインプラス	
	回線テスト	
	接続テスト	

項目	設定	ページ
接続機器設定	デジタル音声出力	47
ネットワーク設定	MACアドレス表示	53
	IPアドレス設定	
	DNS設定	
	プロキシ設定	
	テスト	
自動更新設定		41
設定リセット	設定項目リセット	41
	個人情報消去	

映像や音声を調節する

・ 設定を変更したら、最後に**決定ボタン**を押してください。**決定ボタン**を押さずにメニューを抜けると、設定は変更されません。

映像を調節する

【メニュー】➔【映像 / 音声】➔【映像】で以下の項目を設定します。

映像モード

見る映像に合わせて画質を選びます。
➸22ページ

ピクチャー

画面の明るさと色の濃さを調節します。（薄く↔濃く）

黒レベル

見やすい明るさにします。（暗い↔明るい）

色あい

お好みの肌色に調節します。（赤っぽく↔緑っぽく）

色の濃さ

発色を調節します。（薄く↔濃く）

シャープネス

好みの輪郭にします。（やわらか↔くっきり）

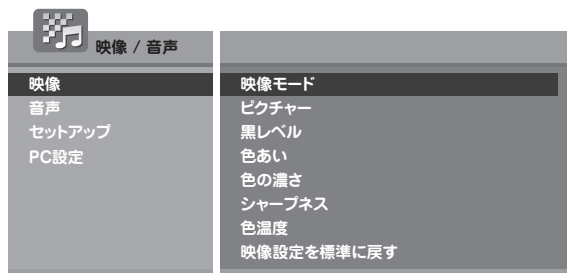
色温度

高い色温度（青が強い）、低い色温度（赤が強い）

映像設定を標準に戻す

画質をお買い上げ時の設定に戻します。

【映像】の設定項目は、以下の入力のグループごとに調節できます。

- 地上アナログ、地上デジタル、BSデジタル、CSデジタル
- ビデオ1
- ビデオ2
- HDMI1、HDMI2
- PC

その他の映像調節

【メニュー】➔【映像 / 音声】➔【セットアップ】で以下の項目を設定します。

ナチュラルシネマ

フィルム撮影された映画などを、動きの速いところもぼんやり感のない映像で表示します。

E.E. センサー

部屋の明るさに合わせて、画面の明るさが自動的に調節されます。

バックライト調整

画面の明るさを調節します。

- 「E.E. センサー」がはたらいているときは、「バックライト調整」は設定できません。

音声を調節する

【メニュー】➔【映像 / 音声】➔【音声】で以下の項目を設定します。

バランス

左右の音量を調節します。

高音

高音の強さを調節します。

低音

低音の強さを調節します。

サラウンド

バーチャルサラウンドを使って部屋全体から音が聞こえるようになります。

音声設定を標準に戻す

お買い上げ時の設定に戻します。

テレビを見るための設定

：フルリモコンでのみ可能な操作です。

「はじめての設定」（»別紙「簡単スタートガイド」）のあと、修正が必要な場合は以下の項目を設定してください。

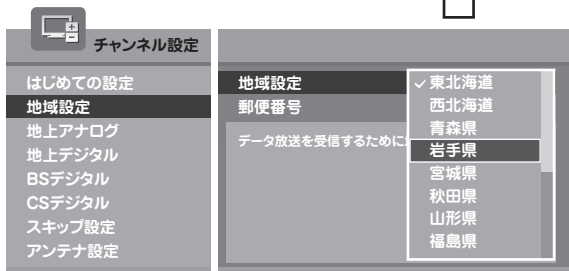
■ データ放送のための設定

【メニュー】➔【チャンネル設定】➔【地域設定】で以下の項目を設定します。
お住まいの地域に合わせたデータ放送（天気予報など）が受信できるようになります。

地域設定

お住まいの地域を設定します。

郵便番号

お住まいの地域の郵便番号を入力します。

■ 地上アナログ放送に関する設定

【メニュー】➔【チャンネル設定】➔【地上アナログ】で以下の項目を設定します。

エリアコード

お住まいの地域を選ぶことで、その地域で見られるチャンネルを自動的に設定します。
»67ページ「エリアコード一覧表」

チャンネルスキャン

新しいチャンネルがないか検索します。

チャンネル設定

フルリモコンの各数字ボタンにどのチャンネルを割り当てるか設定します。»26ページ
受信状態が悪いときは、【微調整】で映像を調節してください。

■ 地上デジタル放送に関する設定

【メニュー】➔【チャンネル設定】➔【地上デジタル】で以下の項目を設定します。

地上デジタルスキャン

お住まいの地域を選択して、受信可能なチャンネルを検索します。

・【チャンネル設定】（下記）の設定は破棄されます。

地上デジタル再スキャン

新しいチャンネルがないか検索します。

チャンネル設定

フルリモコンの各数字ボタンにどのチャンネルを割り当てるか設定します。➼26ページ

■ 衛星放送のアンテナの設定

【メニュー】➔【チャンネル設定】➔【アンテナ設定】➔【衛星設定】➔【BS/CSアンテナ電源供給】

【する（個別）】： 衛星アンテナをご自分で設置しているときに選びます。

【しない（共聴）】： マンションなどで共聴アンテナを使っているときに選びます。

地上デジタル放送の受信レベルを確認する

【メニュー】➔【チャンネル設定】➔【アンテナ設定】➔【地上デジタル設定】

・良好に受信するための受信レベルの目安は50以上です。目安値以下の場合でも、お客様の環境で数値が最大になるようにアンテナの向きを調整してください。

衛星放送の受信レベルを確認する

【メニュー】➔【チャンネル設定】➔【アンテナ設定】➔【衛星設定】➔【BS/CSアンテナレベル】

・良好に受信するための受信レベルの目安は45以上です。目安値以下の場合でも、お客様の環境で数値が最大になるようにアンテナの向きを調整してください。

お知らせを見る・情報を確認する

放送局からのお知らせや、テレビの情報を確認します。

お知らせ・情報を見る

メールを読む

【お知らせ】➔【メール】

放送局から送られてくる情報や、本機の機能向上を行なうソフトウェア更新情報（➸41 ページ）などを確認します。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。

ボードを読む

【お知らせ】➔【CSボード】➔【CS1】

【お知らせ】➔【CSボード】➔【CS2】

110度CSデジタル放送局から送られてくる情報や、ご案内などを確認できます。重要なお知らせが含まれていますので、定期的に目を通すようにしてください。

通信履歴を確認する

【お知らせ】➔【双方向通信一覧】

データ放送の双方向通信の履歴を確認することができます。

B-CASカードの番号を調べる

【お知らせ】➔【カード情報】

カスタマーセンターへ問い合わせる際など、B-CASカードの番号などを調べる必要があるときに、B-CASカードの情報を確認できます。

衛星情報を確認する

【チャンネル設定】➔【BSデジタル】➔【衛星情報の設定】

【チャンネル設定】➔【CSデジタル】➔【衛星情報の設定】

デジタル放送局から電波を受信するための設定を確認します。通常は変更しないでください。

初期設定：　BS: 15　CS1: 2　CS2: 4

メールについて

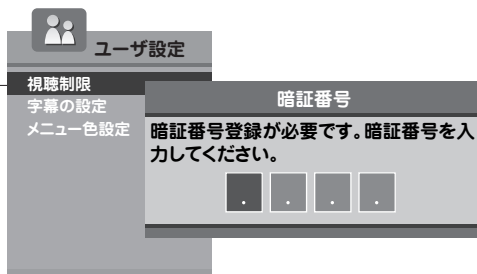
- メールには、放送局からのお知らせと、本機からのメールがあります。メールは40件まで保存できます。40件を超えると、古いメールから削除され、新しいメールが追加されます。
- B-CASカードが挿入されていないと放送局からのメールを受信することができません。B-CASカードは本機に異常が発生しない限り抜かないでください。

■ 視聴制限を設定する

年齢による視聴制限を設定すると、設定よりも視聴制限の高い番組は暗証番号を入力しないと見られなくなります。

1.【視聴制限】を開きます。

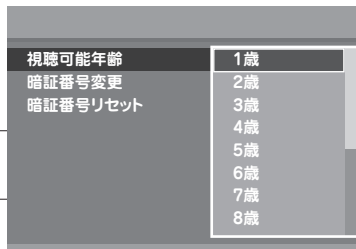
【ユーザ設定】➔【視聴制限】

ユーザ設定
視聴制限
字幕の設定
メニュー色設定
暗証番号
暗証番号登録が必要です。暗証番号を入力してください。

2. 暗証番号を入力します。

・はじめてこのメニューに入るときは、ここで新しい暗証番号を設定します。確認のため二度同じ番号を入力してください。
・二度目以降は前回設定した暗証番号を入力してください。

3.【視聴可能年齢】を開きます。

4. 視聴制限年齢を設定します。

【1歳】～【19歳】、【制限なし】から選んでください。

暗証番号を変更するには

【ユーザ設定】➔【視聴制限】➔【暗証番号変更】

暗証番号を破棄するには

【ユーザ設定】➔【視聴制限】➔【暗証番号リセット】

暗証番号を忘れてしまったら

【個人情報消去】（➽右ページ）を行うと暗証番号の設定が削除されます。

■ メニューの色を変える

【ユーザ設定】➔【メニュー色設定】
【グレー】、【ブラウン】、【ブルー】の中から選んでください。

■ テレビのソフトウェアを自動的に更新する

このテレビには、受信用の内部ソフトウェアを自動的に更新する機能があります。新しい放送局が開設されたときなどに、ソフトウェアを更新することで、デジタル放送を正しく受信することができます。

- ソフトウェアの更新に必要な情報は、デジタル放送の電波を利用してお客さまのテレビに送信されます。更新が行われるためには、衛星デジタル放送または地上デジタル放送が安定して受信できることが必要です。

【システム設定】➔【自動更新設定】➔【自動ダウンロード】
通常は【する】を選んでください。

■ 設定をリセットする

【システム設定】➔【設定リセット】
【設定項目リセット】：各種調整・設定値を工場出荷状態に戻します。
【個人情報消去】：本機を初期化して、本機に記録されている視聴履歴などの個人情報をすべて消します。

DVDプレーヤーなどをつなぐ

DVDプレーヤー、HDDレコーダー、ゲーム機などの再生機器をテレビにつなぎます。

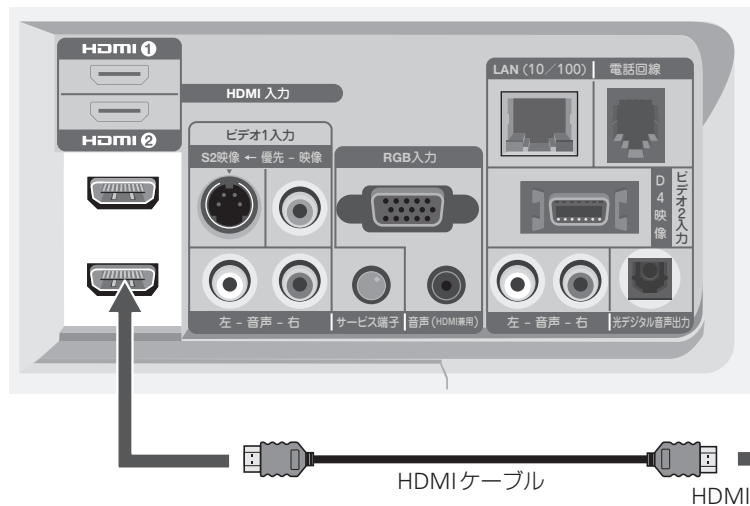
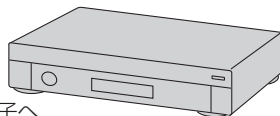
■HDMI端子を使った接続

HDMIケーブルを使うと、１本のケーブルで映像と音声が同時に接続でき、きれいな映像が楽しめます。

必要なもの

・ HDMIケーブル（別売） x1

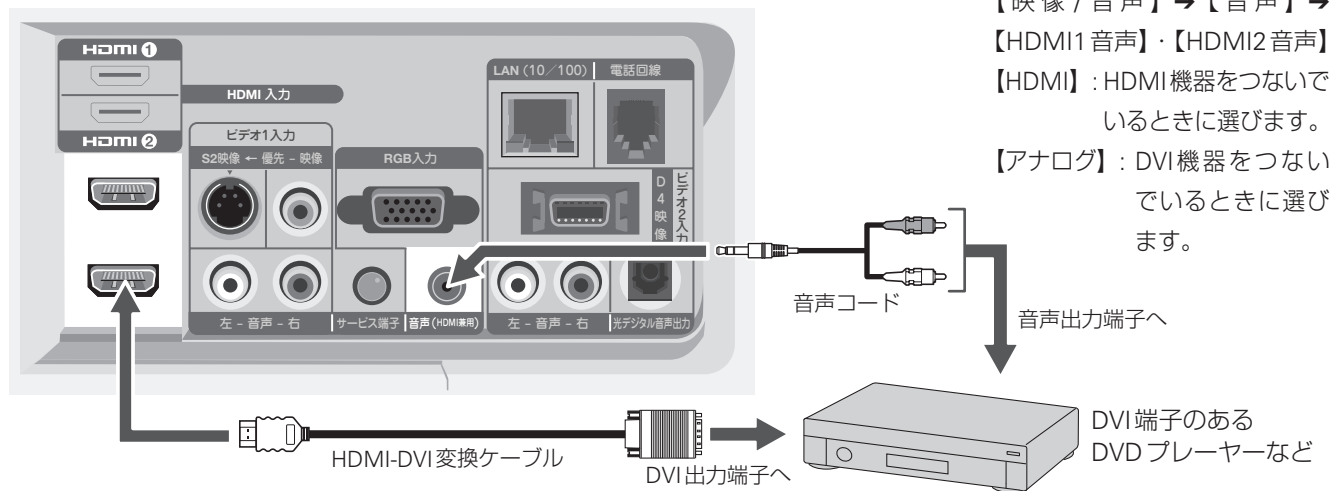
HDMIケーブルは、規格認証済みのものをお使いください。

つないだ機器の映像を見るには

入力切換で「HDMI1」または「HDMI2」を選んでください。

■ DVI機器とつなぐ

DVI端子のある機器と接続するには、HDMI-DVI変換ケーブルを使います。音声は別に音声コードを使って接続します。

必要なもの

・ HDMI-DVI変換ケーブル（別売） x1

・ 音声コード（ステレオミニプラグ–ピンプラグ）（別売） x1

つないだ機器の映像を見るには

入力切換で「HDMI1」または「HDMI2」を選んでください。

DVI機器の音声入力を設定する

【映像 / 音声】➔【音声】➔【HDMI1音声】・【HDMI2音声】

【HDMI】: HDMI機器をつないでいるときに選びます。

【アナログ】: DVI機器をつないでいるときに選びます。

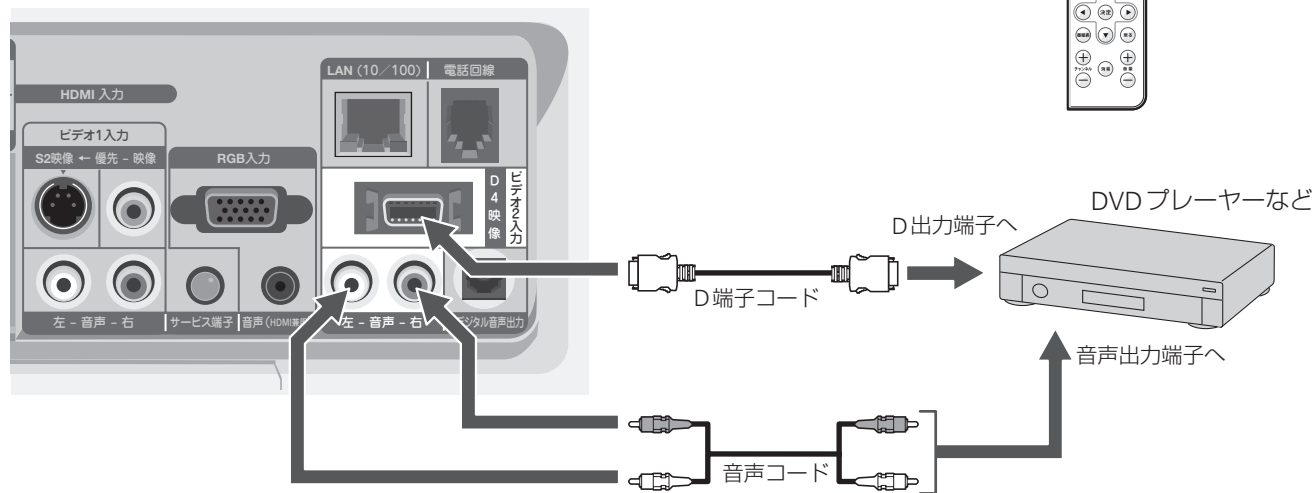
■ D 端子を使った接続

D端子コードを使って映像を送ります。音声は別に音声コードを使って接続します。

必要なもの

- D端子コード（別売） x1
- 音声コード（別売） x1

つないだ機器の映像を見るには

入力切換で「ビデオ 2」を選んでください。

■コンポーネント端子を使った接続

コンポーネント–D変換コードを使って映像を送ります。音声は別に音声コードを使って接続します。

つないだ機器の映像を見るには

入力切換で「ビデオ2」を選んでください。

入力切換

必要なもの

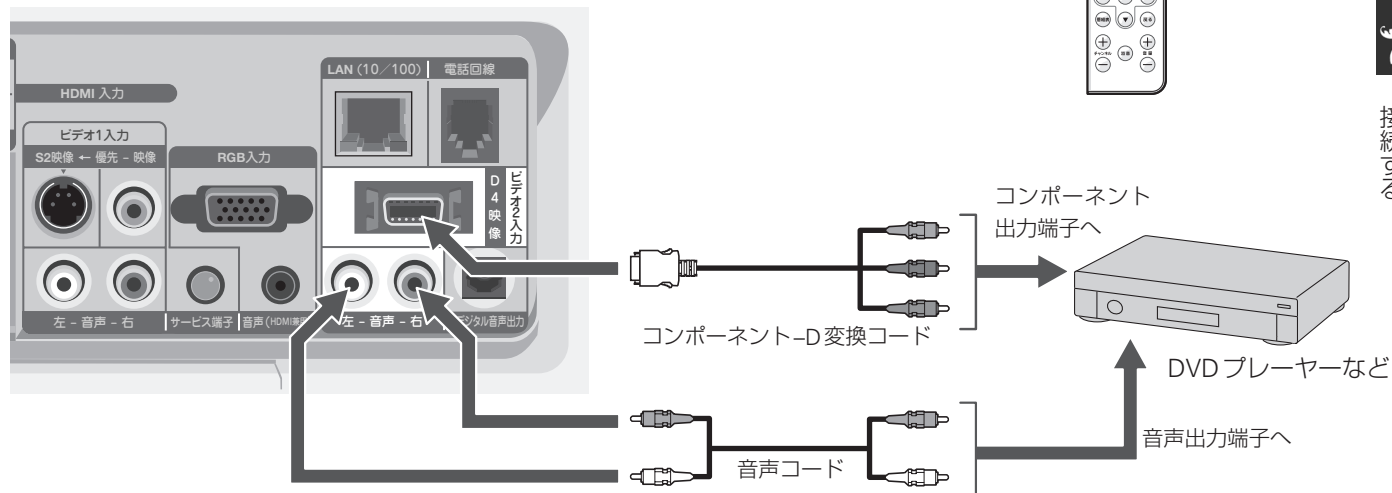
- コンポーネント–D変換コード（別売） x1
- 音声コード（別売） x1

HDMI 入力
ビデオ1入力
S2映像 ← 優先 – 映像
左 – 音声 – 右
RGB入力
サービス端子
LAN（10／100）
電話回線
D4映像
ビデオ2入力
左 – 音声 – 右
デジタル音声出力

コンポーネント出力端子へ

コンポーネント–D変換コード

DVDプレーヤーなど

音声出力端子へ

音声コード

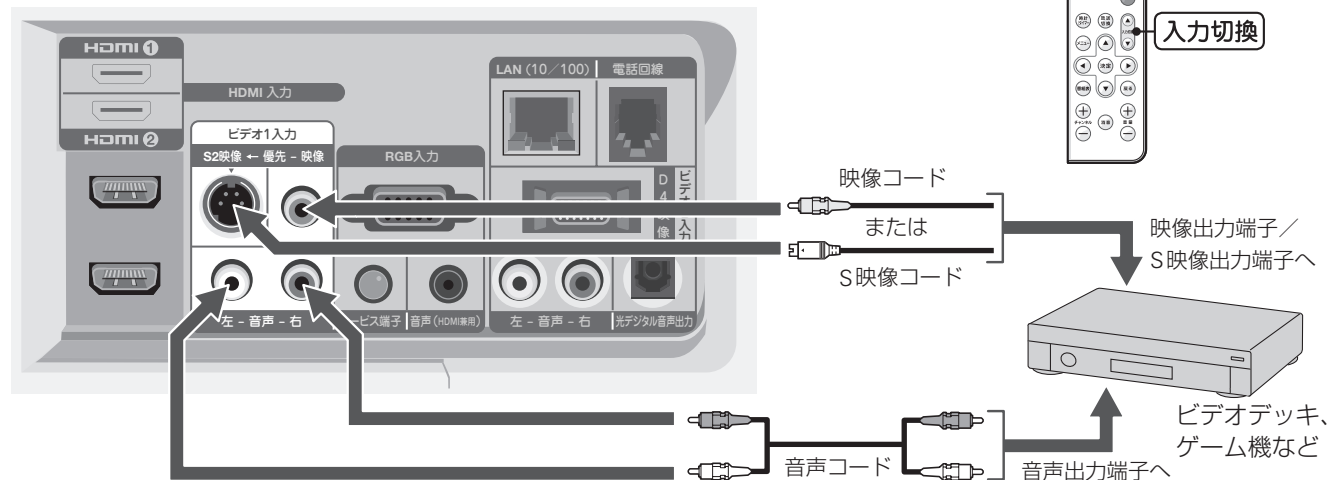
接続する

S 端子または映像出力端子を使った接続

必要なもの

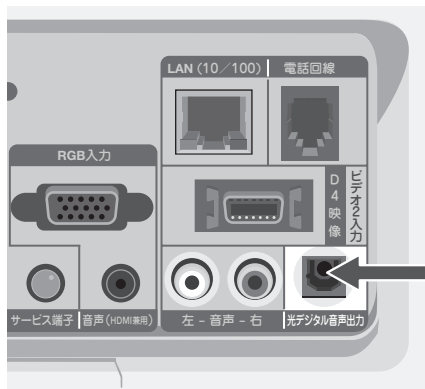
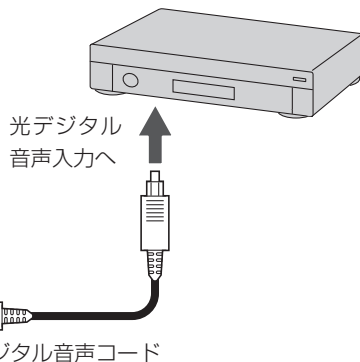
- S映像コード（別売）または映像コード（別売） x1
- 音声コード（別売） x1

つないだ機器の映像を見るには

入力切換で「ビデオ 1」を選んでください。

アンプにつなぐ

MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプに接続して、マルチチャンネル音声の番組を楽しめます。

必要なもの

- 光デジタル音声コード（別売） x1

- アンプを接続する場合は、本機の音量を「0」にして、アンプで音量を調節してください。
- MDレコーダーを接続する場合は、サンプリングレートコンバーターを内蔵しているMDレコーダーをお使いください。
- HDMI入力からの音声は出力されません。

デジタル音声の出力信号を設定する

【システム設定】➔【接続機器設定】➔【デジタル音声出力】

【AAC】: MPEG2 AACデコーダー内蔵アンプをつないでいるときに選びます。

【2CHリニアPCM】: MDレコーダーでデジタル録音するときに選びます。

- 地上アナログ放送の信号とビデオ入力からの信号は、設定にかかわらず2チャンネルリニアPCMで出力されます。
- AAC対応のオーディオ機器を接続する場合、リニアPCM信号とAAC信号の自動判別機能がある機器をおすすめします。

パソコンをつなぐ

お手持ちのパソコンを接続して、モニターとして使うことができます。

■ パソコンをつなぐ

必要なもの

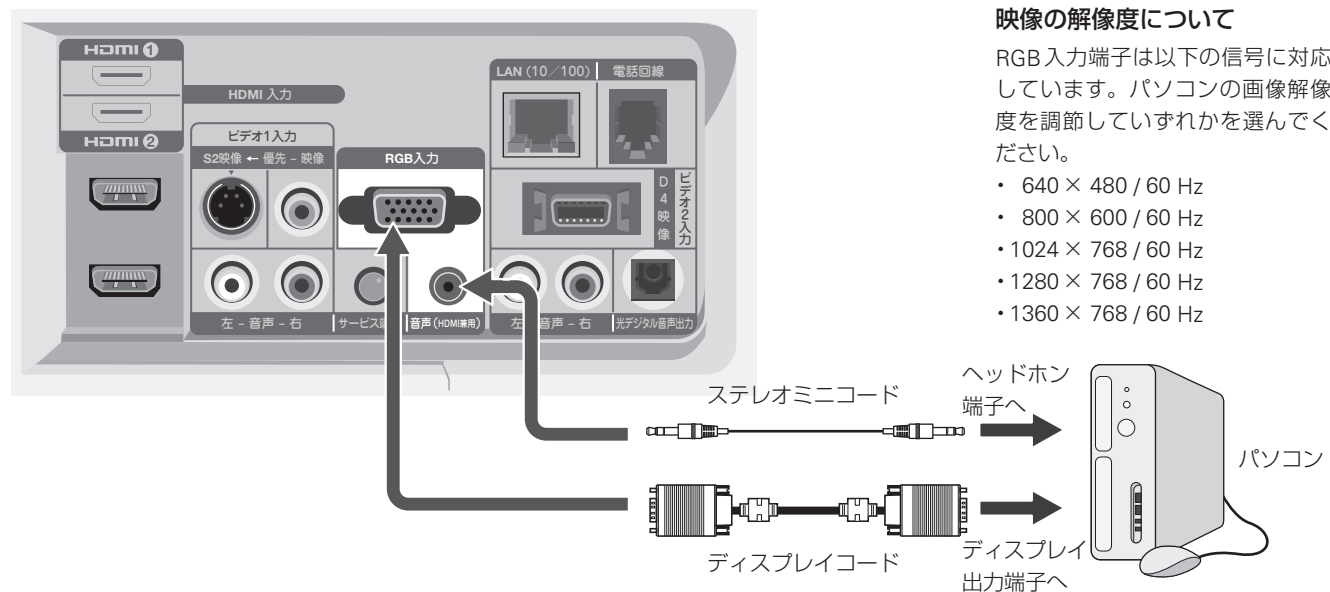
・ディスプレイコード（D-Sub 15ピン　ミニ）（別売）　x1
・音声ステレオミニコード（別売）　x1

パソコンの映像を見るには

入力切換で「PC」を選んでください。

映像の解像度について

RGB入力端子は以下の信号に対応しています。パソコンの画像解像度を調節していずれかを選んでください。

・ 640 × 480 / 60 Hz
・ 800 × 600 / 60 Hz
・1024 × 768 / 60 Hz
・1280 × 768 / 60 Hz
・1360 × 768 / 60 Hz

■ パソコンの画面を調節する

パソコンの画面が正しく表示されるように、以下の項目を調整してください。

【映像 / 音声】➔【PC設定】

自動位相調整

映像信号の位相を自動的に調整します。

色温度

画面の色調を調節します。

位相調整

映像信号の位相を調整します。

周波数調整

映像信号の周波数を調整します。

水平位置調整

画面の水平位置を調節します。

垂直位置調整

画面の垂直位置を調節します。

PC設定を標準に戻す

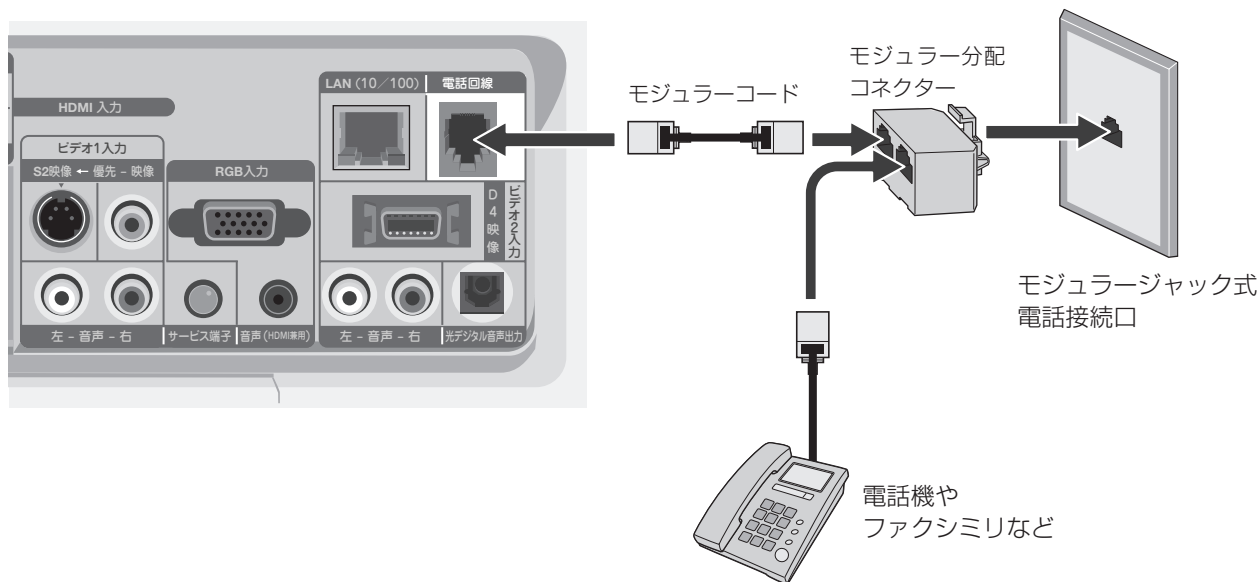
上記の設定を全て初期値に戻します。

電話線をつなぐ

電話線を接続すると、デジタル放送で有料番組を購入したり、クイズやショッピングなどの双方向番組に参加したりできます。

■ 電話線をつなぐ

必要なもの

・ モジュラーコード（別売） x1

：フルリモコンでのみ可能な操作です。

■電話の設定をする

電話線を使ってきちんと通信できるように設定をします。

【システム設定】➔【電話設定】

電話回線の種類

電話回線の種類を設定します。

【ダイヤル回線（10pps)】、【ダイヤル回線（20pps)】、【プッシュ回線】

トーン検出

電話の発信時の、ダイヤルトーン検出を設定します。

【する】、【しない】

内線設定

外線に電話をするときに0発信などが必要な電話回線に本機をつないでいるときに設定します。

発信者番号通知

電話番号の通知を設定します。

【通知する】、【通知しない】、【指定なし】

電話会社設定

接続する電話会社を設定します。

マイラインプラス

通信するときにマイラインプラスの設定を解除するかどうか設定します。

【解除する】、【解除しない】

回線テスト

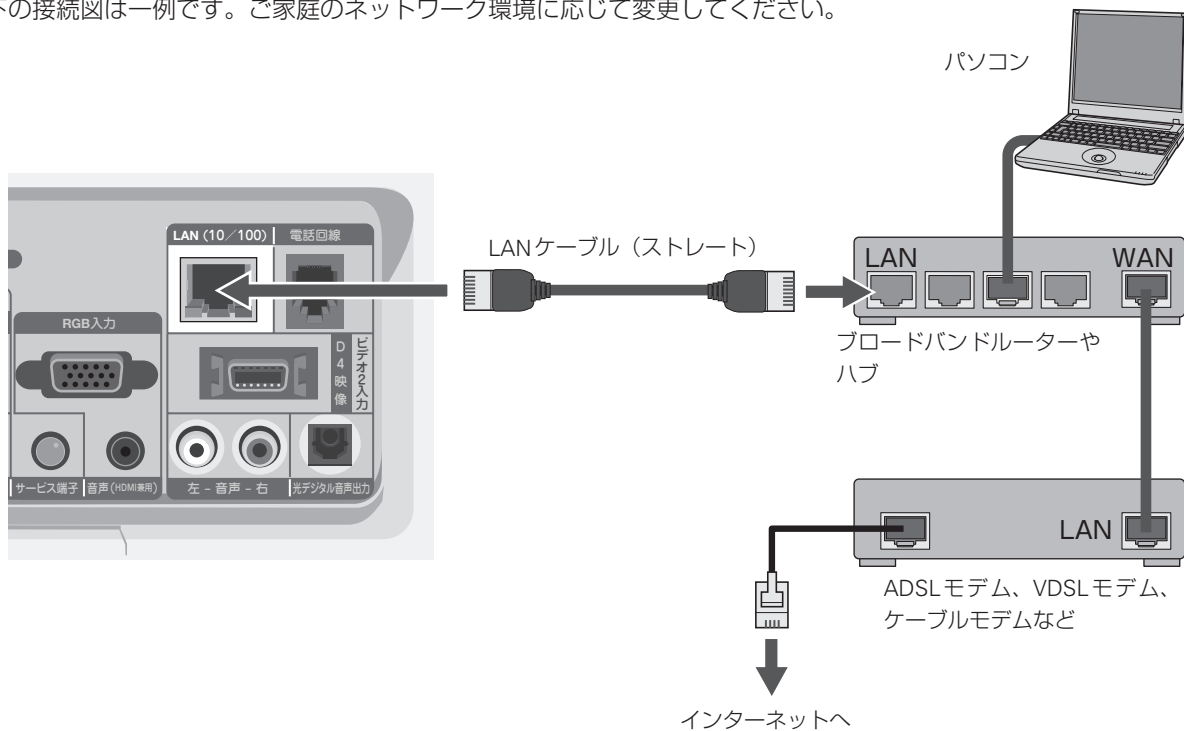
電話回線が正しく機能しているかテストします。通話料金はかかりません。

接続テスト

実際に電話回線を使って正しく接続できるかテストします。通話料金がかかります。

インターネットにつなぐ

インターネットに接続すると、一部のデジタル放送で高機能のデータ放送を楽しむことができます。

- 下の接続図は一例です。ご家庭のネットワーク環境に応じて変更してください。

■インターネットの設定をする

インターネットで通信できるように設定をします。
【システム設定】➔【ネットワーク設定】

MACアドレス表示

テレビのMACアドレスを確認します。

IPアドレス設定

通常は【IPアドレス自動取得】で【する】を選んでください。うまく行かない場合は、【しない】を選んで手動でIPアドレスを設定してください。

DNS設定

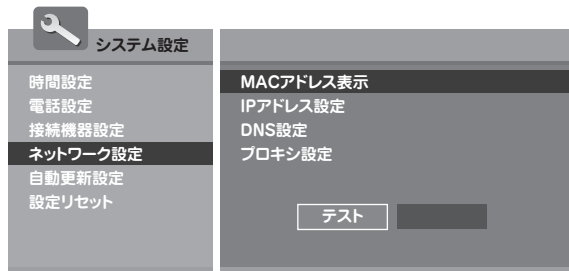
通常は【DNSアドレス自動取得】で【する】を選んでください。うまく行かない場合は、【しない】を選んで手動でDNSアドレスを設定してください。

プロキシ設定

プロキシサーバーを使用するかどうか設定します。プロバイダーから指定があったときのみ、設定をしてください。

・プロキシアドレスについては、ご契約のプロバイダーにお問い合わせください。

テスト

設定が終わったら、【テスト】を選んで接続のテストをしてください。
【OK】と表示されればインターネットでの通信が可能です。

故障かな？と思ったら

修理をご依頼される前に、もう一度次の点を確認してください。
それでも不具合や異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

画面が乱れる／映像に縦線や横線が出る

■他の機器からノイズが入っていませんか？
■アンテナケーブルの近くに、他の機器やケーブルがありませんか？

映像や音声が出なくなったり、映像にモザイク状の四角いマスが出るようになった

■アンテナの向きが風や振動で変わってしまっていませんか？
■アンテナケーブルが劣化していませんか？

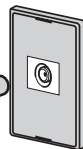
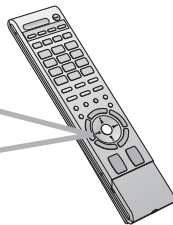
放送が映らない

■アンテナは正しくつながっていますか？
■放送に対応したアンテナやケーブル、分配器を使っていますか？

電源が入らない

■電源プラグは正しくつながっていますか？
■電源ボタンをくり返し押していませんか？

リモコンで操作ができない

■電池は正しい向きで入っていますか？
■電池が消耗してしまっていませんか？
■リモコンを本体に向けずに操作していませんか？
■リモコンと本体の間が障害物にさえぎられていませんか？

■ こんなときは故障ではありません

■画面上に赤や青、緑の点（輝点）が消えなかったり、黒い点（黒点）がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、ご了承ください。

■静止画を表示し続けたときに、画面に残像が生じることがあります。残像はしばらくすると消えます。

■下記のような場合でも、画面や音声に異常がなければ心配ありません。

・ディスプレイパネルに手を触れると弱い静電気を感じる場合。
・本体の天面や背面の一部が熱くなっている場合。
・本機から「ミシッ」という音がする場合。
・本体の内部から動作音が聞こえる場合。

■本機が正常に操作できなくなった場合は、次の操作を行なってください。

1 本体のチャンネル－（マイナス）ボタンと入力切換ボタンを同時に5秒以上押し続ける。
電源が切れ、電源/待機ランプが消えます。

2 本体の電源ボタンを押して電源を入れ直す。

※電源/待機ランプが赤く点灯しているときは、この操作はできません。

放送の受信

地上アナログ放送が映らない	📖i
アンテナを地上デジタル／アナログアンテナ入力端子に正しく接続する。	Ⓢ
エリアコードを正しく選択する。	**37**
【はじめての設定】をやりなおす。	Ⓢ
受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	**27**
地上アナログ放送のチャンネルがきれいに映らない	
受信状態を微調整する。	**37**

CATVが映らない	
受信契約をする。	–
ケーブルを正しく接続する。	–
受信したいチャンネルをチャンネルスキップの設定から外す。	**27**
アンテナを地上デジタル／アナログアンテナ入力端子に正しく接続する。	Ⓢ
正しい向きでB-CASカードを入れる。	Ⓢ
【はじめての設定】をやりなおす。	Ⓢ
受信レベルを確認する。	**38**
本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	–

Ⓢ ➳別紙の「簡単スタートガイド」をご覧ください。

衛星デジタル放送が映らない	
受信契約をする。	–
アンテナをBS ／ 110度CSアンテナ入力端子に正しく接続する。	Ⓢ
正しい向きでB-CASカードを入れる。	Ⓢ
【はじめての設定】をやりなおす。	Ⓢ
衛星アンテナへの電源供給を正しく設定する。	38
アンテナの向きを調節する。	–
アンテナの前方にある障害物を取り除く。 ・ 大雨や雪が降っている場合でも、衛星からの電波が弱くなり、映らないことがあります。	–
本機の電源を切り、電源プラグを抜いた後、B-CASカードをいったん抜いてから差し込み、再度電源プラグを差し込んで電源を入れる。	–

データ放送の一部を見ることができない	
【電話設定】を確認する。	51
【ネットワーク設定】を確認する。	53

一部の有料放送を見ることができない	
本機では見ることができない有料放送があります。	–

Ⓢ ➳別紙の「簡単スタートガイド」をご覧ください。

画面表示／映像

画面が乱れる／映像に縦線や横線が出る	📖
アンテナケーブルを他の機器やケーブルから離してください。	–
画面表示が消えない	
受信できるチャンネルを選ぶ。	–
外部機器の映像を再生する。 ・ 入力信号がないときに画面表示を消すことはできません。	–
色が出ない、おかしい	
映像調節メニューで【色あい】や【色の濃さ】を調節する。	**35**

接続したAV機器からの映像が出ない	
正しい外部入力を選ぶ。	**42–48**
AV機器を正しく接続する。	**42–48**
AV機器の電源を入れ、映像を再生する。	–
D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	–
雪が降っているような画面になる（スノーノイズ）	
屋外のアンテナ線をつなぎ直す。	–
アンテナの向きを直す。 ・ アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–

画面にはん点が出る（妨害）	
ドライヤー・自動車・オートバイ・蛍光灯などの妨害電波の影響が考えられます。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–
画面にしま模様が出る（混信）	
無線局やパソコン・AV機器・電子レンジなどからの電波の混入が考えられます。 ・アンテナの調整や妨害機器への対策などで症状が改善される場合もありますが、どうしても避けられないこともあります。	–
画面サイズが自動的に切り換わる	
【画面サイズ自動検出】を【切り】にする。	23
字幕がテレビ画面に収まらない	
【画面スクロール】で画面の位置を調節する。	23

USB機器

画像ファイルや音楽ファイルが再生できない	📖i
本機で再生可能なファイルを再生する。	29, 30

パソコン

音声が聞こえない	
音声コードを接続する。	48
画面の端が切れる／画面が小さい	
パソコンの画像解像度を正しく設定する。	48
画面が乱れる／色がおかしい	
映像を調節する。	49
映像モードが設定できない	
入力切換で「PC」を選んでいるときは、映像モードを切り換えることはできません。	22

音声

音が出ない	📖
ヘッドホン端子からヘッドホンを抜く。	**11**
消音ボタンを押す。	**13, 24**
音声が重なって聞こえる	
二重音声放送の音声を「主音声」または、「副音声」に切り換える。	**24**
音声が切り換えられない	
下記の場合は音声を切り換えられません。 ・地上アナログ放送で、モノラル放送やステレオ放送の場合。 ・デジタル放送で、音声多重や複数の音声信号がない番組の場合。 ・外部入力の映像の場合。	**–**

接続したAV機器からの音声が出ない	
正しい外部入力を選ぶ。	**42–48**
AV機器を正しく接続する。	**42–48**
AV機器の電源を入れる。	**–**
アンプの音量を0以外または消音以外にする。	**–**
D-VHSモードで記録された内容がデジタル放送の番組以外の場合は、D映像端子か、S映像端子、または映像端子を接続した入力に切り換える。	**–**
音声が、接続していないスピーカーから聞こえる	
ビデオ入力の音声コードを正しく接続してください。	**43–46, 48**

その他

衛星デジタル放送の投票や申し込みができなくなった	
電話回線の接続や設定を確認する。	50, 51

電源ボタンを押してから映像が表示されるまで時間がかかる	
故障ではありません。「しばらくお待ちください」というメッセージが消えてから映像が表示されるまでしばらくかかります。	12

現在時刻が表示されない	
デジタル放送を受信していない場合は、停電があったりテレビのコンセントを抜いたりすると時計がリセットされます。現在時刻を設定しなおしてください。	14
【時計表示】を【切り】以外に設定してください。	15

現在時刻が正しく表示されない	
デジタル放送を受信していない場合は、手動で現在時刻を設定してください。	14

現在時刻が修正できない	
デジタル放送をご覧のときは、放送信号に含まれる時刻情報をもとにテレビの時計が自動的に設定されますので、現在時刻を手動で合わせる必要はありません。	14

突然電源が切れた	
おやすみタイマーかオフタイマーを設定していた場合、自動的に電源が切れます。	17, 18
放送終了後に電源が切れたときは、テレビ消し忘れ防止設定が働いたためです。 ・おやすみタイマー、オフタイマー、テレビ消し忘れ防止設定のうち2つ以上を同時に設定していると、最も早い設定時刻に電源が切れます。	19

こんなメッセージが出たら

本機は、お使いの状況に合わせてメッセージを表示します。

以下は主なメッセージとその対処方法です。表示されたときは、「こうしてください」欄をご確認いただき、正しくお使いください。

画面メッセージ	こうしてください	📖
チャンネル情報がありません。	地上デジタル放送のチャンネルスキャンをする。	**38**
信号レベルが低下しています。(E201)	・雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。	–
	アンテナケーブルやコネクターを点検する。 ・アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	Ⓢ
低階層映像に切り替わりました。(E201)	・雨や雪などの気象条件により一時的に受信レベルが低下している場合に表示されることがあります。	–
	アンテナケーブルやコネクターを点検する。 ・アンテナケーブルやコネクターに接触不良などがある場合に表示されることがあります。	Ⓢ

Ⓢ ➳別紙の「簡単スタートガイド」をご覧ください。

画面メッセージ	こうしてください	📖
現在、このチャンネルは放送を休止しています。(E203)	受信できるチャンネルに切り換える。	–
アンテナやケーブルがショートしています。アンテナとケーブルの接続をご確認ください。(E209)	アンテナを正しく接続する。	Ⓢ
USB機器を認識することができません。	適切なUSB機器を接続する。	**28**
B-CASカードを正しくセットしてください。	B-CASカードを入れ直す。	Ⓢ
	B-CASカスタマーセンターに問い合わせる。 ・ B-CASカードの不具合が考えられます。	–
データ取得中です。	データ放送などのデータを受信中です。	–
データ取得中です。（点滅）	本機では見ることのできない有料放送です。	–

Ⓢ ➸別紙の「簡単スタートガイド」をご覧ください。

主な仕様

■ システム

●受信方式　NTSC（VHF/UHF/CATV）

●受信チャンネル

VHF 1～12、UHF 13～62、CATV C13～C63

地上デジタル放送のチャンネルに対応　000～999

BSデジタル放送のチャンネルに対応　000～999

110度CSデジタル放送のチャンネルに対応　000～999

・CATVパススルー（全帯域）に対応

●画面寸法（幅×高さ／対角）

LT-26L1（26V型）　57.8 cm × 32.6 cm ／ 66.1 cm

LT-20L1（20V型）　44.6 cm × 25.2 cm ／ 50.9 cm

●表示画素数　水平：1366　垂直：768

●スピーカー

LT-26L1:　16.5 cm × 4.5 cm、2個

LT-20L1:　14.7 cm × 4.2 cm、2個

●音声出力

LT-26L1:　7 W + 7 W

LT-20L1:　3 W + 3 W

■ 電源部

●使用電源　AC 100 V、50/60 Hz

●消費電力

LT-26L1:　① 120 W　② 0.9 W　③ 151 kWh/年

LT-20L1:　① 90 W　② 0.9 W　③ 109 kWh/年

① 消費電力

② 待機時消費電力

③ 年間消費電力量［スタンダード時］

●区分名　BEE

■入出力端子

●アンテナ端子

地上デジタル／地上アナログ：75 Ω、F型（CATV（VHF）も対応）

BS・110度CS:　75 Ω、F型

（BS・110度CSコンバーター用電源DC15V4W重畳）

●ビデオ１入力端子

S2映像（S映像）：

Y:　1 V (p-p)、75 Ω、同期負

C:　0.286 V (p-p)（バースト信号）、75 Ω

映像：1 V (p-p)、75 Ω、同期負

音声：0.5 V (rms)、ハイインピーダンス

●D4映像入力（ビデオ２）端子

映像：D端子（D4）

音声：0.5 V (rms)、ハイインピーダンス

●RGB入力（PC）端子

映像：D-SUB 15pin

音声：0.5 V (rms)、ハイインピーダンス

●HDMI1、HDMI2入力端子

HDCP対応

映像：1080i/720p/480p/480i

音声：2CH PCM

●HDMI接続用アナログ音声入力端子

音声：0.5 V (rms)、ハイインピーダンス

●光デジタル音声出力端子　－18 dBm、660 nm

メニュー設定によりMPEG2 AACとPCMを切り換えて出力

●電話回線端子

2Pモジュラージャック、モデム伝送レート2400 bps

●ヘッドホン端子

直径3.5 mm、ステレオミニジャック

●LAN端子（10BASE-T/100BASE-TX端子）

●USB端子

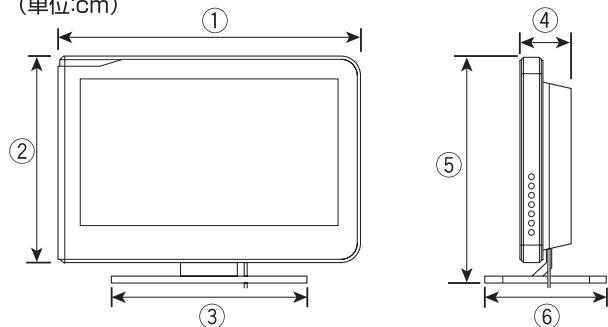
USB 2.0

JPEG、MP3

■外形寸法・その他

LT-26L1: ① 67.6 ② 46.2 ③ 44.3 ④ 9.4 ⑤ 51.0 ⑥ 23.3

LT-20L1: ① 52.2 ② 35.6 ③ 34.0 ④ 9.0 ⑤ 39.1 ⑥ 21.0

(単位:cm)

●画面角度の調節範囲

上10度、下5度

●質量

LT-26L1: 12.0 kg

LT-20L1: 8.0 kg

●付属品

別紙「かんたんスタートガイド」参照

※このテレビを使用できるのは日本国内のみです。外国では放送方式、電源電圧が異なりますのでご使用できません。
This television set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

※仕様および外観は改良のため変更することがありますのでご了承ください。

※写真や図は、説明をわかりやすくするために誇張・省略・合成をしています。実物とは多少異なりますのでご了承ください。

※テレビのV型(26V型、20V型など)は、有効画面の対角寸法を基準とした目安です。

※年間消費電力量は、省エネ法に基づいて、型サイズや受信機の種類別の算定式により、一般家庭での平均視聴時間を基準に算出した、一年間に使用する電力量です。

※本機は「JIS C61000-3-2適合品」です。

※区分名とは、エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)で、テレビに使用される表示素子、アスペクト比、画素数、受信可能な放送形態及び付加機能の有無等に基づき区分されたものです。

エリアコード一覧

【チャンネル設定】➔【地上アナログ】➔【エリアコード】で入力する番号です。（➻37ページ）

エリアコード一覧の見かた

リモコンのチャンネル番号

都道府県名	エリアコード	放送局名・受信チャンネル 1	2	3
	地域名（対応都市）エリアコード	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル	放送局名 受信チャンネル

	エリアコード	放送局名･受信チャンネル 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ー	初期設定 000	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
北海道	札幌（江別）001	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35	テレビ北海道 17	NHK教育 12
	小樽 002		NHK教育 2		北海道テレビ 4			札幌テレビ 7	北海道文化 26	北海道放送 9		NHK総合 11	テレビ北海道 24
	旭川 003		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 33
	名寄 004			北海道文化 26	NHK総合 4		札幌テレビ 6		北海道テレビ 24		北海道放送 10		NHK教育 12
	稚内 005		NHK教育 30	北海道文化 26		北海道テレビ 24		札幌テレビ 22		NHK総合 28	北海道放送 10		
	室蘭 006		NHK教育 2	北海道文化 37		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	テレビ北海道 29
	苫小牧 007		NHK教育 49	北海道文化 53		北海道テレビ 61		札幌テレビ 57		NHK総合 51		北海道放送 55	テレビ北海道 47
	函館 008		北海道文化 27		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 35		NHK教育 10	テレビ北海道 21	札幌テレビ 12
	帯広 009		北海道文化 32		NHK総合 4		北海道放送 6		北海道テレビ 34		札幌テレビ 10		NHK教育 12
	釧路 010		NHK教育 2	北海道文化 41		北海道テレビ 39		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 11	
	網走 011	北海道放送 1		NHK総合 3		札幌テレビ 5			北海道文化 27		北海道テレビ 35		NHK教育 12
	北見 012		NHK教育 2	北海道文化 59		北海道テレビ 61		札幌テレビ 7		NHK総合 9		北海道放送 53	
青森	青森（弘前）013	青森放送 1		NHK総合 3	青森朝日 34	NHK教育 5							青森テレビ 38
	八戸 014		岩手めんこい 29		青森朝日 31			NHK教育 7		NHK総合 9		青森放送 11	青森テレビ 33
	むつ 015				NHK総合 4		青森朝日 56		青森テレビ 58		青森放送 10		NHK教育 12

・放送局名・受信チャンネルは当社の調査によるものです（2008年1月現在）。

エリアコード一覧

	エリアコード	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		放送局名・受信チャンネル											
岩手	盛岡 016				NHK総合 4		岩手放送 6		NHK教育 8	岩手朝日放送 31	テレビ岩手 35		岩手めんこい 33
岩手	釜石 017		NHK総合 2				テレビ岩手 58		岩手めんこい 60	岩手朝日放送 62	岩手放送 10		NHK教育 12
岩手	二戸 018		岩手放送 2			NHK総合 5			岩手めんこい 29	岩手朝日放送 61	テレビ岩手 37		NHK教育 12
宮城	仙台 019	東北放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		東日本放送 32		宮城テレビ 34			仙台放送 12
宮城	石巻 020	東北放送 59		NHK総合 51		NHK教育 49		東日本放送 61		宮城テレビ 55			仙台放送 57
宮城	気仙沼 021		NHK総合 2		東北放送 4		仙台放送 6	東日本放送 43		宮城テレビ 37	NHK教育 10		
秋田	秋田 022		NHK教育 2			秋田朝日 31				NHK総合 9		秋田放送 11	秋田テレビ 37
秋田	大館 023				NHK総合 4	秋田朝日 59	秋田放送 6		NHK教育 8				秋田テレビ 57
秋田	大曲 024		NHK教育 43			秋田朝日 41				NHK総合 45		秋田放送 47	秋田テレビ 51
山形	山形 025		さくらんぼテレビ 30		NHK教育 4		テレビュー山形 36		NHK総合 8		山形放送 10		山形テレビ 38
山形	鶴岡（酒田）026	山形放送 1	さくらんぼテレビ 24	NHK総合 3			NHK教育 6		テレビュー山形 22				山形テレビ 39
山形	米沢 027		さくらんぼテレビ 60		NHK教育 50		テレビュー山形 56		NHK総合 52		山形放送 54		山形テレビ 58
福島	福島（郡山）028		NHK教育 2		テレビュー福島 31		福島中央 33			NHK総合 9	福島放送 35	福島テレビ 11	
福島	いわき 029		テレビュー福島 62		NHK総合 4		福島中央 58		福島テレビ 8		NHK教育 10		福島放送 60
福島	会津若松 030	NHK総合 1		NHK教育 3	テレビュー福島 47		福島テレビ 6		福島中央 37		福島放送 41		
茨城	水戸（ひたちなか）031	NHK総合 44		NHK教育 46	日本テレビ 42		TBS 40		フジテレビ 38		テレビ朝日 36		テレビ東京 32
茨城	日立 032	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
栃木	宇都宮 033	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 41	とちぎＴＶ 31	テレビ東京 44
栃木	矢板 034	NHK総合 40		NHK教育 30	日本テレビ 36		TBS 42		フジテレビ 45		テレビ朝日 59	とちぎＴＶ 33	テレビ東京 61
群馬	前橋（伊勢崎・高崎）035	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54	群馬テレビ 48	TBS 56	放送大学 40	フジテレビ 58		テレビ朝日 60		テレビ東京 62
群馬	桐生 036	NHK総合 51		NHK教育 57	日本テレビ 53	群馬テレビ 41	TBS 55	放送大学 40	フジテレビ 35		テレビ朝日 59		テレビ東京 61

	エリア	コード	放送局名・受信チャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
埼玉	さいたま（三郷・越谷・狭山・草加・所沢・新座・上尾・朝霞・入間・岩槻・大宮・春日部・川口・川越）	037	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ埼玉 38	テレビ東京 12
埼玉	熊谷	038	NHK総合 51		NHK教育 35	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	テレビ埼玉 30	テレビ東京 61
埼玉	秩父	039	NHK総合 14		NHK教育 49	日本テレビ 16		TBS 18		フジテレビ 29		テレビ朝日 38	テレビ埼玉 47	テレビ東京 44
千葉	千葉（我孫子・市川・市原・浦安・柏・木更津・佐倉・流山・習志野・野田・船橋・松戸・八千代）	040	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
千葉	銚子	041	NHK総合 51		NHK教育 49	日本テレビ 53		TBS 55		フジテレビ 57		テレビ朝日 59	千葉テレビ 39	テレビ東京 61
東京	23区（昭島・青梅・清瀬・小金井・小平・立川・調布・西東京・東久留米・東村山・日野・府中・武蔵野・三鷹）	042	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6	テレビ埼玉 38	フジテレビ 8	テレビ神奈川 42	テレビ朝日 10	千葉テレビ 46	テレビ東京 12
東京	八王子	043	NHK総合 33	MXテレビ 40	NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 31		テレビ朝日 45		テレビ東京 62
東京	多摩	044	NHK総合 49	MXテレビ 61	NHK教育 47	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57		テレビ東京 59
神奈川	横浜みなと（横浜の一部）	045	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 48	テレビ東京 62
神奈川	横浜（横浜・厚木・海老名・鎌倉・川崎・相模原・座間・藤沢・町田・大和・横須賀）	046	NHK総合 1	MXテレビ 14	NHK教育 3	日本テレビ 4	放送大学 16	TBS 6		フジテレビ 8		テレビ朝日 10	テレビ神奈川 42	テレビ東京 12
神奈川	平塚（茅ヶ崎）	047	NHK総合 33		NHK教育 29	日本テレビ 35		TBS 37		フジテレビ 39		テレビ朝日 41	テレビ神奈川 31	テレビ東京 43
神奈川	秦野	048	NHK総合 47		NHK教育 49	日本テレビ 51		TBS 53		フジテレビ 55		テレビ朝日 57	テレビ神奈川 61	テレビ東京 59
神奈川	小田原	049	NHK総合 52		NHK教育 50	日本テレビ 54		TBS 56		フジテレビ 58		テレビ朝日 60	テレビ神奈川 46	テレビ東京 62
山梨	甲府	050	NHK総合 1		NHK教育 3		山梨放送 5		テレビ山梨 37					
長野	長野1	051		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 40		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 48	
長野	長野2	052		NHK総合 2	長野朝日 20		テレビ信州 30		長野放送 38		NHK教育 9		信越放送 11	
長野	松本	053		NHK総合 44	長野朝日 50		テレビ信州 48		長野放送 42		NHK教育 46		信越放送 40	
長野	飯田	054			NHK教育 3	NHK総合 4	テレビ信州 42	信越放送 6		長野放送 40		長野朝日 44		
長野	岡谷・諏訪	055				NHK総合 4	テレビ信州 59	信越放送 6		NHK教育 8	長野放送 47	長野朝日 61		
新潟	新潟（長岡）	056			新潟テレビ21 21	テレビ新潟 29	新潟放送 5			NHK総合 8		新潟総合TV 35		NHK教育 12
新潟	上越	057	NHK教育 1		NHK総合 3	テレビ新潟 27		新潟テレビ21 37		新潟総合TV 33		新潟放送 10		

エリアコード一覧

	エリアコード	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
富山	富山 058	北日本放送 1		NHK総合 3					富山テレビ 34		NHK教育 10		チューリップTV 32
富山	高岡 059	北日本放送 50		NHK総合 48					富山テレビ 44		NHK教育 46		チューリップTV 42
石川	金沢（小松）060		石川テレビ 37		NHK総合 4		北陸放送 6		NHK教育 8		テレビ金沢 33		北陸朝日 25
石川	七尾 061	テレビ金沢 57		北陸朝日 59		NHK教育 5		石川テレビ 55		NHK総合 9		北陸放送 11	
福井	福井 062			NHK教育 3			北陸放送 6			NHK総合 9		福井放送 11	福井テレビ 39
福井	敦賀 063						NHK総合 6		福井放送 8		福井テレビ 38		NHK教育 12
岐阜	岐阜（大垣）064	東海テレビ 1		NHK総合 39		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	岐阜放送 37	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
岐阜	高山 065		NHK教育 2		NHK総合 4		中部日本放送 6	中京テレビ 26	東海テレビ 8		岐阜放送 38		名古屋テレビ 12
岐阜	中津川 066				NHK総合 4		名古屋テレビ 6	中京テレビ 26	中部日本放送 8		東海テレビ 10	岐阜放送 28	NHK教育 12
静岡	静岡（清水・焼津）067		NHK教育 2	静岡第1 31		静岡朝日 33		テレビ静岡 35		NHK総合 9		静岡放送 11	
静岡	浜松 068		静岡第1 30		NHK総合 4		静岡放送 6		NHK教育 8		静岡朝日 28		テレビ静岡 34
静岡	富士（富士宮）069		NHK教育 54	静岡第1 27		静岡朝日 29		テレビ静岡 39		NHK総合 52		静岡放送 41	
静岡	三島・沼津 070		NHK教育 51	静岡第1 61		静岡朝日 57		テレビ静岡 59		NHK総合 53		静岡放送 55	
静岡	島田 071	NHK総合 1		NHK教育 3		静岡放送 5		静岡第1 48			静岡朝日 50		テレビ静岡 58
静岡	藤枝 072	NHK総合 42		NHK教育 44		静岡放送 40		静岡第1 24			静岡朝日 26		テレビ静岡 38
愛知	名古屋（安城・一宮・岡崎・春日井・刈谷・小牧・瀬戸・半田）073	東海テレビ 1		NHK総合 3		中部日本放送 5	岐阜放送 37	中京テレビ 35	三重テレビ 33	NHK教育 9		名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
愛知	豊橋（豊川）074	東海テレビ 56		NHK総合 54		中部日本放送 62		中京テレビ 58		NHK教育 50		名古屋テレビ 60	テレビ愛知 52
愛知	豊田 075	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 59		NHK教育 51		名古屋テレビ 61	テレビ愛知 49
三重	津（鈴鹿・松阪・四日市）076	東海テレビ 1		NHK総合 31		中部日本放送 5		中京テレビ 35		NHK教育 9	三重テレビ 33	名古屋テレビ 11	テレビ愛知 25
三重	伊勢 077	東海テレビ 57		NHK総合 53		中部日本放送 55		中京テレビ 47		NHK教育 49	三重テレビ 59	名古屋テレビ 61	
三重	名張 078	東海テレビ 62		NHK総合 52		中部日本放送 60		中京テレビ 54		NHK教育 50	三重テレビ 58	名古屋テレビ 56	

	エリアコード	放送局名・受信チャンネル											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
滋賀	大　津　079		NHK総合 28		毎日放送 36		朝日放送 38	京都テレビ 34	関西テレビ 40		読売テレビ 42	びわ湖放送 30	NHK教育 46
	彦　根　080		NHK総合 52		毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62	びわ湖放送 56	NHK教育 50
京都	京都（宇治）081		NHK総合 2	京都テレビ 34	毎日放送 4	テレビ大阪 19	朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 12
	舞　鶴　082		NHK総合 51		毎日放送 53	京都テレビ 57	朝日放送 55		関西テレビ 59		読売テレビ 61		NHK教育 49
	福知山　083		NHK総合 50		毎日放送 54	京都テレビ 56	朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
大阪	大　阪	（池田・和泉・茨木・門真・河内長野・岸和田・堺・吹田・大東・高槻・豊中・富田林・寝屋川・羽曳野・東大阪・枚方・松原・守口・八尾）											
	084		NHK総合 2	サンテレビ 36	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8	テレビ大阪 19	読売テレビ 10		NHK教育 12
兵庫	神　戸　085		NHK総合 28	サンテレビ 36	毎日放送 31		朝日放送 41		関西テレビ 43		読売テレビ 47	テレビ大阪 19	NHK教育 45
	神戸灘　086		NHK総合 52	サンテレビ 62	毎日放送 54		朝日放送 56		関西テレビ 58		読売テレビ 60	テレビ大阪 19	NHK教育 50
	川　西　087		NHK総合 29	サンテレビ 33	毎日放送 35		朝日放送 37		関西テレビ 39		読売テレビ 41		NHK教育 31
	三　木　088		NHK総合 44	サンテレビ 36	毎日放送 34		朝日放送 38		関西テレビ 40		読売テレビ 42		NHK教育 46
	姫　路　089		NHK総合 50	サンテレビ 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
	明石（加古川）090		NHK総合 51	サンテレビ 55	毎日放送 53		朝日放送 57		関西テレビ 59		読売テレビ 61	テレビ大阪 19	NHK教育 49
奈良	奈良（橿原）091		NHK総合 2	テレビ大阪 19	毎日放送 4	NHK奈良 51	朝日放送 6	京都テレビ 34	関西テレビ 8	サンテレビ 36	読売テレビ 10	奈良テレビ 55	NHK教育 12
	五　條　092		NHK総合 43	奈良テレビ 41	毎日放送 33		朝日放送 35		関西テレビ 37		読売テレビ 39		NHK教育 45
和歌山	和歌山　093		NHK総合 32	テレビ和歌山 30	毎日放送 42		朝日放送 44		関西テレビ 46		読売テレビ 48		NHK教育 26
	海南・田辺　094		NHK総合 50	テレビ和歌山 56	毎日放送 54		朝日放送 58		関西テレビ 60		読売テレビ 62		NHK教育 52
鳥取	鳥　取　095	日本海テレビ 1		NHK総合 3	NHK 教育 4				山陰中央 24		山陰放送 22		
島根	松　江　096	日本海テレビ 30					NHK総合 6		山陰中央 34		山陰放送 10		NHK教育 12
	浜　田　097		NHK総合 2	日本海テレビ 54		山陰放送 5			山陰中央 58	NHK教育 9			
岡山	岡山（倉敷）098	TVせとうち 23		NHK教育 3		NHK総合 5	瀬戸内海放送 25	岡山放送 35		西日本放送 9		山陽放送 11	
	津　山　099		NHK総合 2		TVせとうち 56		瀬戸内海放送 62	山陽放送 7		西日本放送 58		岡山放送 60	NHK教育 12
	笠　岡１　100		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 19	山陽放送 6			西日本放送 17	瀬戸内海放送 21	岡山放送 60	
	笠　岡２　101		NHK総合 2		NHK教育 4	TVせとうち 22	山陽放送 6			西日本放送 34	瀬戸内海放送 55	岡山放送 60	

	エリアコード		放送局名・受信チャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
広島	広島	102	テレビ新広島 31		NHK総合 3	中国放送 4			NHK教育 7		広島ホームTV 35			広島テレビ 12
広島	福山	103	テレビ新広島 54		NHK教育 3		NHK総合 5		中国放送 7		広島ホームTV 57		広島テレビ 11	
広島	尾道	104	NHK総合 1			広島ホームTV 24			NHK教育 7	テレビ新広島 26		中国放送 10		広島テレビ 12
広島	呉	105	NHK教育 1			広島ホームTV 24	広島テレビ 5			テレビ新広島 26	中国放送 9		NHK総合 11	
山口	山口（徳山・防府）	106	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 38		NHK総合 9		山口放送 11	
山口	下関	107	NHK教育 41		TXN九州 23	山口放送 4	山口朝日 21		テレビ山口 33		NHK総合 39	テレビ西日本 10		
山口	宇部	108	NHK教育 55				山口朝日 24		テレビ山口 44		NHK総合 58	テレビ西日本 10	山口放送 61	
山口	岩国1	109	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 22		NHK総合 9		山口放送 11	
山口	岩国2	110	NHK教育 1				山口朝日 28		テレビ山口 62		NHK総合 9		山口放送 11	
徳島	徳島	111	四国放送 1		NHK総合 3	毎日放送 4		朝日放送 6		関西テレビ 8		読売テレビ 10		NHK教育 38
香川	高松	112	TVせとうち 19		NHK教育 39		NHK総合 37	瀬戸内海放送 33	岡山放送 31		西日本放送 41		山陽放送 29	
香川	丸亀1	113	TVせとうち 16		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 22		西日本放送 20		山陽放送 18	
香川	丸亀2	114	TVせとうち 46		NHK教育 40		NHK総合 44	瀬戸内海放送 42	岡山放送 52		西日本放送 50		山陽放送 48	
愛媛	松山	115		NHK教育 2		あいテレビ 29		NHK総合 6		愛媛放送 37	愛媛朝日 25	南海放送 10	テレビ新広島 31	広島ホームTV 35
愛媛	新居浜1	116		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 27	
愛媛	新居浜2	117		NHK総合 2		NHK教育 4		南海放送 6		愛媛放送 36	愛媛朝日 14		あいテレビ 16	
愛媛	今治1	118		NHK教育 30		あいテレビ 27		NHK総合 32		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
愛媛	今治2	119		NHK教育 55		あいテレビ 27		NHK総合 58		愛媛放送 36	愛媛朝日 17	南海放送 34		
愛媛	宇和島1	120	NHK教育 1			あいテレビ 34		NHK総合 6		愛媛放送 32	愛媛朝日 16	南海放送 10		
愛媛	宇和島2	121	NHK教育 1			あいテレビ 25		NHK総合 6		愛媛放送 27	愛媛朝日 16	南海放送 10		

	エリアコード		放送局名・受信チャンネル											
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
高知	高知	122				NHK総合 4		NHK教育 6		高知放送 8		テレビ高知 38		高知さんさんテレビ 40
福岡	福岡	123	九州朝日 1		NHK総合 3	RKB毎日 4		NHK教育 6			テレビ西日本 9		TXN九州 19	福岡放送 37
	久留米	124	九州朝日 57		NHK総合 46	RKB毎日 48		NHK教育 54			テレビ西日本 60		TXN九州 14	福岡放送 52
	大牟田	125	九州朝日 58		NHK総合 53	RKB毎日 61		NHK教育 50			テレビ西日本 55		TXN九州 19	福岡放送 43
	北九州	126		九州朝日 2	TXN九州 23	福岡放送 35		NHK総合 6		RKB毎日 8		テレビ西日本 10		NHK教育 12
	行橋	127		九州朝日 57	TXN九州 19	福岡放送 43		NHK総合 49		RKB毎日 60		テレビ西日本 54		NHK教育 46
佐賀	佐賀1	128		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38			福岡放送 52
	佐賀2	129		NHK教育 40	九州朝日 57	RKB毎日 48	TXN九州 14		サガテレビ 36	テレビ西日本 60	NHK総合 38		熊本放送 11	福岡放送 52
長崎	長崎	130	NHK教育 1		NHK総合 3		長崎放送 5		長崎国際 25		長崎文化 27		テレビ長崎 37	
	佐世保	131		NHK教育 2		長崎国際 17		長崎文化 31		NHK総合 8		長崎放送 10		テレビ長崎 35
	諫早1	132	NHK教育 45		NHK総合 47		長崎放送 49		長崎国際 20		長崎文化 24		テレビ長崎 42	
	諫早2	133	NHK教育 51		NHK総合 59		長崎放送 62		長崎国際 32		長崎文化 56		テレビ長崎 39	
熊本	熊本（八代）	134		NHK教育 2	熊本朝日 16		熊本県民 22		テレビ熊本 34		NHK総合 9		熊本放送 11	
大分	大分（別府）	135			NHK総合 3		大分放送 5		テレビ大分 36		大分朝日 24			NHK教育 12
	中津	136			NHK総合 48		大分放送 51		テレビ大分 37		大分朝日 17			NHK教育 45
宮崎	宮崎（都城）	137						テレビ宮崎 35		NHK総合 8		宮崎放送 10		NHK教育 12
	延岡	138		NHK教育 2		NHK総合 4		宮崎放送 6		テレビ宮崎 39				
鹿児島	鹿児島	139	南日本放送 1		NHK総合 3		NHK教育 5		鹿児島放送 32		鹿児島テレビ 38		鹿児島読売 30	
	阿久根	140		鹿児島読売 17		鹿児島放送 23		鹿児島テレビ 35		NHK総合 8		南日本放送 10		NHK教育 12
	鹿屋	141		NHK教育 2		NHK総合 4		南日本放送 6		鹿児島放送 31		鹿児島テレビ 33		鹿児島読売 25
沖縄	那覇（沖縄）	142		NHK総合 2			琉球朝日放送 28			沖縄テレビ 8		琉球放送 10		NHK教育 12

地上デジタルチャンネル表

- 地上デジタル放送が開始される時期は、地域により異なります。また、地上デジタル放送の開始時は、地上アナログ放送との混信を避けるため、非常に小さい出力で放送されます。そのため、受信できるエリアが限定されます。
- 放送局の名称や数、チャンネル番号などは変更される場合があります。

（2008年1月現在）

お住まいの地域	札幌		函館		旭川		帯広		釧路		北見		室蘭	
放送局名	3	NHK総合·札幌	3	NHK総合·函館	3	NHK総合·旭川	3	NHK総合·帯広	3	NHK総合·釧路	3	NHK総合·北見	3	NHK総合·室蘭
	2	NHK教育·札幌	2	NHK教育·函館	2	NHK教育·旭川	2	NHK教育·帯広	2	NHK教育·釧路	2	NHK教育·北見	2	NHK教育·室蘭
	1	HBC札幌	1	HBC函館	1	HBC旭川	1	HBC帯広	1	HBC釧路	1	HBC北見	1	HBC室蘭
	5	STV札幌	5	STV函館	5	STV旭川	5	STV帯広	5	STV釧路	5	STV北見	5	STV室蘭
	6	HTB札幌	6	HTB函館	6	HTB旭川	6	HTB帯広	6	HTB釧路	6	HTB北見	6	HTB室蘭
	8	UHB札幌	8	UHB函館	8	UHB旭川	8	UHB帯広	8	UHB釧路	8	UHB北見	8	UHB室蘭
	7	TVH札幌	7	TVH函館	7	TVH旭川	7	TVH帯広	7	TVH釧路	7	TVH北見	7	TVH室蘭

お住まいの地域	宮城		秋田		山形		岩手		福島 NHK総合は県域 '21' を優先して割り当て		青森		東京	
放送局名	3	NHK総合·仙台	1	NHK総合·秋田	1	NHK総合·山形	1	NHK総合·盛岡	1	NHK総合·福島	3	NHK総合·青森	1	NHK総合·東京
	2	NHK教育·仙台	2	NHK教育·秋田	2	NHK教育·山形	2	NHK教育·盛岡	2	NHK教育·福島	2	NHK教育·青森	2	NHK教育·東京
	1	TBCテレビ	4	ABS秋田放送	4	YBC山形放送	6	IBCテレビ	8	福島テレビ	1	RAB青森放送	4	日本テレビ
	8	仙台放送	8	AKT秋田テレビ	5	YTS山形テレビ	4	テレビ岩手	4	福島中央テレビ	6	ATV青森テレビ	6	TBS
	4	ミヤギテレビ	5	AAB秋田朝日放送	6	テレビユー山形	8	めんこいテレビ	5	KFB福島放送	5	青森朝日放送	8	フジテレビジョン
	5	KHB東日本放送			8	さくらんぼテレビ	5	岩手朝日テレビ	6	テレビユー福島			5	テレビ朝日
													7	テレビ東京
													9	東京MXテレビ
													12	放送大学

お住まいの地域	神奈川	群馬	茨城	千葉	栃木	埼玉	長野
放送局名	1 NHK総合·東京	1 NHK総合·東京	1 NHK総合·水戸	1 NHK総合·東京	1 NHK総合·東京	1 NHK総合·東京	1 NHK総合·長野
	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·東京	2 NHK教育·長野
	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 日本テレビ	4 テレビ信州
	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	6 TBS	5 ABN長野朝日放送
	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	8 フジテレビジョン	6 SBC信越放送
	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	5 テレビ朝日	8 NBS長野放送
	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	7 テレビ東京	
	3 TVKテレビ	3 群馬テレビ	12 放送大学	3 ちばテレビ	3 とちぎテレビ	3 テレビ埼玉	
	12 放送大学	12 放送大学		12 放送大学	12 放送大学	12 放送大学	

お住まいの地域	新潟	山梨	大阪	京都	兵庫	和歌山	奈良
放送局名	1 NHK総合·新潟	1 NHK総合·甲府	1 NHK総合·大阪	1 NHK総合·京都	1 NHK総合·神戸	1 NHK総合·和歌山	1 NHK総合·奈良
	2 NHK教育·新潟	2 NHK教育·甲府	2 NHK教育·大阪	2 NHK教育·大阪	2 NHK教育·大阪	2 NHK教育·大阪	2 NHK教育·大阪
	6 BSN	4 YBS山梨放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送	4 MBS毎日放送
	8 NST	6 UTY	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ	6 ABCテレビ
	4 TeNYテレビ新潟		8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ	8 関西テレビ
	5 新潟テレビ21		10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ	10 よみうりテレビ
			7 テレビ大阪	5 KBS京都	3 サンテレビ	5 テレビ和歌山	9 奈良テレビ

お住まいの地域	滋賀	広島	岡山	香川	島根	鳥取	山口
放送局名	1 NHK総合·大津	1 NHK総合·広島	1 NHK総合·岡山	1 NHK総合·高松	3 NHK総合·松江	3 NHK総合·鳥取	1 NHK総合·山口
	2 NHK教育·大阪	2 NHK教育·広島	2 NHK教育·岡山	2 NHK教育·高松	2 NHK教育·松江	2 NHK教育·鳥取	2 NHK教育·山口
	4 MBS毎日放送	3 RCCテレビ	4 RNC西日本テレビ	4 RNC西日本テレビ	8 山陰中央テレビ	8 山陰中央テレビ	4 KRY山口放送
	6 ABCテレビ	4 広島テレビ	5 KSB瀬戸内海放送	5 KSB瀬戸内海放送	6 BBSテレビ	6 BBSテレビ	3 TYSテレビ山口
	8 関西テレビ	5 広島ホームテレビ	6 RSKテレビ	6 RSKテレビ	1 日本海テレビ	1 日本海テレビ	5 YAB山口朝日
	10 よみうりテレビ	8 TSS	7 テレビせとうち	7 テレビせとうち			
	3 BBCびわ湖放送		8 OHKテレビ	8 OHKテレビ			

地上デジタルチャンネル表

お住まいの地域	愛知		三重		岐阜		石川		静岡		福井		富山	
放送局名	3	NHK総合·名古屋	3	NHK総合·津	3	NHK総合·岐阜	1	NHK総合·金沢	1	NHK総合·静岡	1	NHK総合·福井	3	NHK総合·富山
	2	NHK教育·名古屋	2	NHK教育·名古屋	2	NHK教育·名古屋	2	NHK教育·金沢	2	NHK教育·静岡	2	NHK教育·福井	2	NHK教育·富山
	1	東海テレビ	1	東海テレビ	1	東海テレビ	4	テレビ金沢	6	SBS	7	FBCテレビ	1	KNB北日本放送
	5	CBC	5	CBC	5	CBC	5	北陸朝日放送	8	テレビ静岡	8	福井テレビ	8	BBT富山テレビ
	6	メ~テレ	6	メ~テレ	6	メ~テレ	6	MRO	4	静岡第一テレビ			6	チューリップテレビ
	4	中京テレビ	4	中京テレビ	4	中京テレビ	8	石川テレビ	5	静岡朝日テレビ				
	10	テレビ愛知	7	三重テレビ	8	岐阜テレビ								

お住まいの地域	愛媛		徳島		高知		福岡		熊本		長崎		鹿児島	
放送局名	1	NHK総合·松山	3	NHK総合·徳島	1	NHK総合·高知	3	NHK総合·福岡	1	NHK総合·熊本	1	NHK総合·長崎	3	NHK総合·鹿児島
	2	NHK教育·松山	2	NHK教育·徳島	2	NHK教育·高知	3	NHK総合·北九州	2	NHK教育·熊本	2	NHK教育·長崎	2	NHK教育·鹿児島
	4	南海放送	1	四国放送	4	高知放送	2	NHK教育·福岡	3	RKK熊本放送	3	NBC長崎放送	1	MBC南日本放送
	5	愛媛朝日			6	テレビ高知	2	NHK教育·北九州	8	TKUテレビ熊本	8	KTNテレビ長崎	8	KTS鹿児島テレビ
	6	あいテレビ			8	さんさんテレビ	1	KBC九州朝日放送	4	KKTくまもと県民	5	NCC長崎文化放送	5	KKB鹿児島放送
	8	テレビ愛媛					4	RKB毎日放送	5	KAB熊本朝日放送	4	NIB長崎国際テレビ	4	KYT鹿児島讀賣TV
							5	FBS福岡放送						
							7	TVQ九州放送						
							8	TNCテレビ西日本						

お住まいの地域	宮崎		大分		佐賀		沖縄							
放送局名	1	NHK総合·宮崎	1	NHK総合·大分	1	NHK総合·佐賀	1	NHK総合·那覇						
	2	NHK教育·宮崎	2	NHK教育·大分	2	NHK教育·佐賀	2	NHK教育·那覇						
	6	MRT宮崎放送	3	OBS大分放送	3	STSサガテレビ	3	RBCテレビ						
	3	UMKテレビ宮崎	4	TOSテレビ大分			5	QAB琉球朝日放送						
			5	OAB大分朝日放送			8	沖縄テレビ(OTV)						

著作権

■あなたがビデオデッキなどで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
■本機から電話回線を使用して通信を行う場合、フリーダイヤル（通話料金無料）でない限り、電話料金はお客様の負担になります。
■本機は電波産業界規格に基づいた仕様になっております。将来規格の変更があった際は、本機の仕様を変更する場合があります。
■有料番組のなかには、その製作者によって「視聴すること」のみ許可されている場合があります。これらのプログラムは著作権保護されており、いかなる目的といえども、著作権者の文書による明示された許可がない限り、コピーまたは再生できません。
■本製品の一部分にIndependent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
■本製品は、データ放送用BML機能として（株）ACCESSのNetFront DTV Profile を搭載しております。

ACCESS
NetFront® DTV Profile

* NetFrontは、株式会社ACCESSの日本及びその他の国における登録商標または商標です。

■各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
■その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

MPEG2 AACに関する使用特許番号の表示

本機において、MPEG2 AACに関する下記番号の特許（出願中も含む）を使用しています。
特許番号（出願番号）
5,848,391 5,291,557 5,451,954 5,400,433 5,222,189 5,357,594
5,752,225 5,394,473 5,583,962 5,274,740 5,633,981 5,297,236
4,914,701 5,235,671 07/640,550 5,579,430 98/03037 97/02875
97/02874 98/03036 5,227,788 5,285,498 5,481,614 5,592,584
5,781,888 08/039,478 08/211,547 5,703,999 08/557,046
08/894,844 5,299,238 5,299,239 5,299,240 5,197,087
5,490,170 5,264,846 5,268,685 5,375,189 5,581,654 5,548,574
08/506,729 08/576,495 5,717,821 08/392,756

■本機に組み込まれたフリーソフトウェアコンポーネントに関するエンドユーザーライセンスアグリーメント原文（英文）

REQUIRED PUBLIC STATEMENT FOR GPL/LGPL LICENSED SOFTWARE USED IN THIS TELEVISION

The following GPL executables and LGPL libraries are used in this product and are subject to the GPL/LGPL License Agreements included as part of this documentation:
kernel-2.6.11.8
busybox-1.1.3
tinylogin-1.4
wget-1.10
mksquashfs-3.1-r2
mipsel-gcc-3.4.3-1
mipsel-binutils-2.15-1
glibc-2.3.3-1
mtd-utils-1.0.0
libexif-0-6.16
Source code for these executables and libraries can be obtained by sending a request to the following email address:
webmaster@humaxdigital.com

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot

impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify
it under the terms of the GNU General Public License as published by
the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or
(at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful,
but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of
MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the
GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along
with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library, and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library.

We call this license the "Lesser" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License.

In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a "work based on the library" and a "work that uses the library". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each licensee is addressed as "you".

A "library" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The "Library", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A "work based on the Library" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".)

"Source code" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) The modified work must itself be a software library.

b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a "work that uses the Library". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a "work that uses the Library" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a "work that uses the library". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a "work that uses the Library" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and

accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself.

6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the

sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Libraries

If you develop a new library, and you want it to be of the greatest possible use to the public, we recommend making it free software that everyone can redistribute and change. You can do so by permitting redistribution under these terms (or, alternatively, under the terms of the ordinary General Public License).

To apply these terms, attach the following notices to the library. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the library's name and a brief idea of what it does.>
Copyright (C) <year> <name of author>

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Lesser General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2.1 of the License, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Lesser General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU Lesser General Public License along with this library; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the library, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the library `Frob' (a library for tweaking knobs) written by James Random Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1990
Ty Coon, President of Vice

That's all there is to it!

REQUIRED STATEMENT FOR INDEPENDENT JPEG GROUP SOFTWARE

The module, libjpeg.so is the work of the Independent JPEG Group.

REQUIRED STATEMENT FOR SOFTWARE DEVELOPED BY THE OPENSSL PROJECT USED IN THIS PRODUCT

OpenSSL License

===
===========
Copyright (c) 1998-2007 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project
for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:
"This product includes software developed by the OpenSSL Project
for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

===
===========

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.
If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.
This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
"This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"
The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement:
"This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

保証書（別添）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から1年間です。

補修用性能部品の最低保有期限

当社はカラーテレビの補修用性能部品を、製造打ち切り後、最低8年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

お買い上げの販売店または最寄りの「ビクターサービス窓口」にお問い合わせください。（➽**88**ページ）

お客様の個人情報のお取り扱いについて

ご相談窓口におけるお客様の個人情報につきまして、日本ビクター株式会社およびビクターグループ関係会社（以下、当社）にて、下記の通り、お取り扱いいたします。

●お客様の個人情報は、お問合わせへの対応、修理およびその確認連絡に利用させていただきます。

●お客様の個人情報は、適切に管理し、当社が必要と判断する期間、保管させていただきます。

●次の場合を除き、お客様の同意なく個人情報を第三者に提供または開示することはありません。

1 上記利用目的のために、協力会社に業務委託する場合。当該協力会社に対しては、適切な管理と利用目的外の使用をさせない措置をとります。

2 法令に基づいて、司法、行政またはこれに類する機関から情報開示の要請を受けた場合。

●お客様の個人情報に関するお問合わせは、ご相談いただきましたご相談窓口にご連絡ください。

修理を依頼されるときは

54～63ページに従って調べていただき、なお異常のあるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証期間中は

修理の際は保証書をご提示ください。

保証書の規定に従って販売店及び、ビクターサービスが修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	ビクター地上･BS･110度CSデジタル液晶テレビ
型　　名	LT-26L1-B, LT-26L1-W LT-20L1-B, LT-20L1-W, LT-20L1-P, LT-20L1-G
お買い上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も合わせてお知らせください。
お　名　前	
電話番号	(　　　)　　　ー

修理料金のしくみ

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器設備費、一般管理費が含まれています。

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

愛情点検　●長年ご使用のテレビの点検をぜひ！ 熱、湿気、ホコリなどの影響や、使用の度合により部品が劣化し、故障したり、時には安全性を損なって事故につながることもあります。

このような症状はありませんか	●電源スイッチを入れても映像や音が出ない。 ●上下、または左右の映像が欠けて映る。 ●映像が時々、消えることがある。 ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。 ●電源スイッチを切っても、映像や音が消えない。

ご使用を中止	故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグをはずして必ず販売店にご相談下さい。

ちょっとした心づかいでテレビの安全

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
北海道			
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.S.	(0166)25-2533	旭川市5条通17丁目1439番地1
	北見 S.S.	(0157)25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	帯広市西5条南28丁目1-1 有限会社オーイーエム内
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16 函館五稜郭MFビル1F
東北			
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪2-2-36
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田西2-3-20
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
山形	山形 S.S.	(023)642-0279	山形市松山3-12-18
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	郡山市堤1-3
関東・甲信越			
群馬	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(027)255-5982	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	前橋 S.C.	(027)255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター(株)前橋工場第2棟1F
栃木	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(028)635-2938	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	宇都宮 S.C.	(028)638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(029)246-0590	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	水戸 S.C.	(029)246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター(株)水戸工場技術棟1F

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043)202-0263	千葉市中央区中央三丁目9-16 三井生命千葉中央ビル1F
	柏 S.C.	(04)7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.C.	(047)353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03)5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	大田 S.C.	(03)5748-3701	大田区池上二丁目8-10 プラムビル1F
	八王子 S.C.	(042)646-6914	八王子市石川町2969番の2 日本ビクター(株)八王子工場 第4棟
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	ENGサポートセンター 24 受付グループ	(03)5631-2235	墨田区八広五丁目11-1
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048)654-5241	さいたま市北区大成町4-503
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(03)5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045)450-6211	横浜市神奈川区新浦島町1-1-25 テクノウェイブ100ビル1F
	相模原 S.C.	(042)776-2052	相模原市古淵3-7-4
	海老名 S.C.	(046)234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(055)227-5773	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	甲府 S.S.	(055)237-4016	甲府市湯田2-11-5

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
新潟	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(025)241-4003	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	新潟 S.C.	(025)242-3431	新潟市中央区鐙1丁目5-23
長野	【出張修理専門】のご相談窓口		
	東日本コールセンター	(026)221-7607	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	長野 S.C.	(026)221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263)25-9165	松本市庄内2-4-21
東海			
静岡	静岡 S.C.	(054)204-0050	静岡市駿河区高松一丁目16-14
	沼津 S.S.	(055)922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053)421-3441	浜松市東区北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568)25-3235	北名古屋市九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564)25-0321	岡崎市葵町2-23 宝ビル101号室
	豊橋 S.S.	(0532)64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058)274-1947	岐阜市六条北四丁目8-10 今尾ビル103号室
三重	三重 S.S.	(059)352-0841	四日市市堀木2-15-2
北陸			
富山	富山 S.S.	(076)425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076)269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776)50-6161	福井市和田東1丁目1807番地ビルズK103
近畿			
滋賀	滋賀 S.S.	(077)582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075)644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
大阪 奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072)254-2881	堺市北区百舌鳥梅町3丁21-2伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	メンテナンスセンター	(06)6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
和歌山	和歌山 S.S.	(073)472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S.	(0739)22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫	【出張修理専門】のご相談窓口		
	西日本コールセンター	(06)6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078)252-0562	神戸市中央区浜辺通2丁目1-30 三宮国際ビル1F
中国			
岡山	岡山 S.C.	(086)243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082)243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084)931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.S.	(083)973-3708	山口市小郡花園町5-28
島根	松江 S.C.	(0852)31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	鳥取 S.S.	(0857)23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
四国			
香川	高松 S.C.	(087)866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.S.	(088)665-9601	徳島市川内町榎瀬673
高知	高知 S.S.	(088)882-0546	高知市高須新町4-1-43
愛媛	松山 S.C.	(089)923-0372	松山市中央1-4-12
九州・沖縄			
福岡 佐賀	福岡 S.C.	(092)707-0500	福岡市博多区沖浜町11番10号 サンイースト福岡1F
	北九州 S.C.	(093)921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.S.	(095)862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956)33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.S.	(097)543-1422	大分市西大道3-1-1
熊本	熊本 S.C.	(096)353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985)24-5401	宮崎市霧島町3-59
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099)282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098)898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。0108

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
　　　　　　　　S.S.はサービスステーションの略称です。

索引

J-Moss　グリーンマーク表示対象製品です

J-Mossとは電気･電子機器の特定化学物質の含有表示を規定するJIS規格で、グリーンマークは特定化学物質(鉛、水銀、カドミウム、6価クロム、PBB、PBDE)を基準値以上含まないことを証明するものです。

製品についてのご相談や修理のご依頼は ▶ お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は ▶ 下記のご相談窓口にご相談ください。

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の取り扱いについては、86ページをご覧ください。

修理に関するご相談

ビクターサービスエンジニアリング株式会社

88ページをご覧ください。

お買い物情報や全般的なご相談

お客様ご相談センター

0120−2828−17

携帯電話・ＰＨＳ・ＦＡＸなどからのご利用は

電話　(045) 450−8950
FAX　(045) 450−2275

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

ビクターホームページ　http://www.victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

〒221-8528　横浜市神奈川区守屋町3-12

0208HHH-MW-HX